

京都市内遺跡試掘・立会調査報告

昭和55年度

京都市埋蔵文化財調査センター
財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

正誤表

ページ	誤	正
目次	図版二(2つ目)	図版三
5ページ 4行目	西大宮大路西側溝	西大宮大路東側溝
5ページ 12行目	中京区西七条西石ヶ坪町	下京区西七条西石ヶ坪町
調査概要一覧表25-54	上・西院通	上・西洞院通
26-42	左京北辺三坊	左京一条三坊
29-7	丸太町通大宮東入	上・丸太町通大宮東入
29-10	中・丸太町通堀川東入	中・丸太町通堀川東入
52-3	黄褐色粘土	黄褐色粘土
72-22	150~280cm	150~185cm
図版三 右上	右京六条二坊	右京五条二坊
図版五 1行目	図57-33	図57-32
図版七 1行目	図54-7	図30-55
図版七 3行目	須恵器碗	須恵器杯
図版九 3行目	法界寺跡	法界寺境内
図版二 1行目	図54-7	図30-55
図版三 2行目	々	々
図版三 1行目	縄釉碗	縄釉皿
図版三 2行目	図54-7	図30-55
図版三 6行目	図20-37	図30-37
図版四	皇嘉門小路	皇嘉門大路
図版空	*	*

序

いうまでもなく京都市は、わが国隨一といわれる歴史の堆積地であり、そこに埋没している遺跡、遺構、遺物は質、量ともに他の比肩を許さないものであります。

平安の開都以来、千有余年、王城の地としてわが国文化の創出、集散を重ねてきた本市の地下土層には、京都の歴史、日本の歴史が凝縮され、眠っております。さらに近年は、平安の開都以前、いわゆる先史時代の文化遺跡までも、その存在が確かめられ、いよいよ埋蔵文化財包蔵地としての評価を高めつつあります。

しかしながら、京都市はまた、古代から近代にいたるまで、王城の地として途切れることなく生きつづけ、今日もなお 150万の大都会として、明日へ向って発展をつづけているという他に類例をみない特異な街でもあります。このことは、保存、保護すべき埋蔵文化財が、常に大都市の活動の前に、破壊、滅失の危機にさらされていることにはかなりません。この現状に対応するには、可能な限り、これら歴史の物証を破壊、滅失から護り、光をあて、その意味するところを解明し、位置づけをして真の歴史の構築に役立たせること、とあわせて先人の貴重な遺産として後代に引継ぐのが、われわれに課せられた責務であると考えます。

このため、10数年来、発掘調査による記録保存を中心に、微力を注いできましたが、本報告書も、昭和55年度分として、国の補助を受け、京都市埋蔵文化財研究所に、全面的に調査を委ねて得られた成果であります。これをもって、学術研究なり、文化財保護の一助にでもなれば、身に過ぎた喜びであります。

なお、調査にたずさわっていただいた京都市埋蔵文化財研究所ならびに、ご協力いただいた調査員、事業者の方々をはじめ、関係各位のご支援、ご協力に、心から謝意を表します。

昭和56年3月31日

京都市埋蔵文化財調査センター

例　　言

本書は財団法人埋蔵文化財研究所が、京都市埋蔵文化財調査センターから委託を受け実施した文化庁国庫補助を伴う昭和55年度の京都市内遺跡の試掘・立会調査報告書である。

調査概要一覧表の所在地欄で使用した区名について、北は（北区）、左は（左京区）、右は（右京区）、上は（上京区）、中は（中京区）、下は（下京区）、南は（南区）、伏は（伏見区）、山は（山科区）の省略であり、京都市は割愛した。

調査概要一覧表の項目「工事後の遺跡残存状態」で使用の全壙は（工事面積の全てが工事掘削により造構、包含層及び無遺物層まで達した状態）、半壙は（工事面積の約半分が工事掘削により造構、包含層及び無遺物層まで達した状態）、上部削平は（工事掘削が無遺物層まで達していない状態）、未確認は（工事掘削が盛土及び近現代層までの状態）、不明は（調査時点において工事施行済みの状態）の区分である。

調査地点位置図を掲載した遺跡は、平安京跡、長岡京跡（京都市城分）、鳥羽離宮跡、白河街区跡、植物園北遺跡、出雲寺跡、相国寺境内、新町校地遺跡、常盤井殿町遺跡、北野遺跡、北野庵寺、室町殿跡、京都大学構内遺跡、聚楽第跡、深草遺跡、深草寺跡、西飯食町遺跡、伏見城跡、中臣遺跡群、上久世遺跡、中久世遺跡、大鏡遺跡であり他遺跡は除いた。

調査地点位置図に55年度実施以外の調査地点が掲載されているが、これは昭和2年（1927）から昭和55年（1980）の間に公共団体、任意団体が実施した発掘、試掘、立会調査地点であり、昭和56年（1981）（財）京都市埋蔵文化財研究所刊行の「京都市域における埋蔵文化財の発掘・試掘・立会調査一覧」を参照されたい。

平安京京城の図葉分割は、宮、京に分け、宮は一条大路を除く三辺の大路内溝までとした。京は、四周大路を除いては各大路、小路のセンターで分割した。

遺跡名及び遺跡範囲は、（財）京都市埋蔵文化財研究所、京都市埋蔵文化財調査センターが昭和55年10月発行の「京都市遺跡地図」に準じた。ただし京都大学構内及び関連遺跡については京大構内遺跡として一括した。

平安京跡及び長岡京跡に重複する遺跡は、平安京跡、長岡京跡に一括した。

位置図に使用した平安京復元図は、当研究所が作成したものである。本書に掲載した地図は、京都市都市計画局発行の2500：1および10000：1を調整使用し、その縮尺は平安宮跡2500：1、平安京跡、中臣遺跡、鳥羽離宮跡5000：1とし、その他は10000：1とした。

本書作成にあたっては、秋田佳子、安達麻里子、奥渕昌子、小山みのり、児玉光世、團村香、中西爱子、宮下則子、山形頼子が参加し、本書の執筆は大矢義明が行ない、写真撮影は、遺構については担当調査員が、遺物は牛嶋茂が行なった。

目 次

I 調査に至る経緯	1
II 調査に至る手続	2
III 調査の方法	3
IV 調査概要	4
V まとめ	6

調査概要一覧表

図版

図版一 試掘調査	図版三 平安宮
図版二 立会調査	図版三 平安宮
図版三 遺構写真	図版三 平安宮
図版四 遺構写真	図版三 平安宮
図版五 遺物写真	図版四 平安宮
図版六 遺物写真	図版五 左京北辺・一条二坊
図版七 遺物写真	図版五 左京北辺・一条三坊
図版八 遺物写真	図版五 左京北辺・一条四坊
図版九 遺物写真	図版六 左京二・三条一坊
図版一 遺物写真	図版六 左京二・三条二坊
図版二 遺物実測図	図版七 左京二・三条三坊
図版二 遺物実測図	図版七 左京二・三条四坊
図版三 遺物実測図	図版七 左京四・五条一坊
図版四 平安宮園葉分割図	図版七 左京四・五条二坊
図版五 平安京園葉分割図	図版七 左京四・五条三坊
図版六 平安宮	図版七 左京四・五条四坊
図版七 平安宮	図版八 左京六・七条一坊
図版六 平安宮	図版八 左京六・七条二坊
図版元 平安宮	図版八 左京六・七条三坊

図版元	左京六・七条四坊	図版児	右京六・七条一坊
図版昌	左京八・九条一坊	図版児	右京八・九条四坊
図版四	左京八・九条二坊	図版児	右京八・九条三坊
図版豊	左京八・九条三坊	図版児	右京八・九条二坊
図版豊	左京八・九条四坊	図版児	右京八・九条一坊
図版昌	右京北辺・一条四坊	図版児	中臣遺跡群
図版豊	右京北辺・一条三坊	図版児	鳥羽離宮跡
図版児	右京北辺・一条二坊	図版児	鳥羽離宮跡
図版堀	右京二・三条四坊	図版児	植物園北遺跡 出雲寺跡 相
図版児	右京二・三条三坊		国寺境内 常盤井殿町遺跡
図版堀	右京二・三条二坊		新町校地遺跡 宝町殿跡
図版昌	右京二・三条一坊	図版児	京大構内遺跡 白河街区跡
図版堀	右京四・五条四坊	図版児	伏見城跡
図版豊	右京四・五条三坊	図版児	伏見城跡
図版豊	右京四・五条二坊	図版児	深草遺跡 西飯食町造跡 深
図版豊	右京四・五条一坊		草寺跡
図版豊	右京六・七条四坊	図版児	上久世遺跡 中久世遺跡 大
図版児	右京六・七条三坊		藏遺跡 長岡京跡
図版毛	右京六・七条二坊	図版児	長岡京跡

I 調査に至る経緯

京都市域に所在する埋蔵文化包藏地（遺跡）はこれまでに、平安京跡、長岡京跡の2大宮都を含み、約740余ヶ所が周知されている。この遺跡数、密度は全国的に見ても屈指の高水準である。前述の2大宮都の他に、植物園北遺跡、中臣遺跡群、鳥羽離宮跡、白河街区跡、六波羅政府跡、伏見城跡など、遺跡の周知範囲が広範に及ぶと共に、各時代の遺跡が複合し、さらに現在の市街地とも重なっている遺跡が多数存在するため、日々の遺跡破壊件数には、いちぢるしいものがある。とりわけ平安京跡の場合は約25haの面積を有し、京城内には平安京以前の遺跡が点在し、平安京造営以後も現在に至るまで開発・再開発がくり返されてきたわけであり、平安京跡に重複する市街地での遺跡の重層は少ないところでも4～5層、多いところになると15層以上にも及び、京都の歴史の重厚さを物語っている。

このような歴史的状況の中で、京都市における遺跡の調査は、昭和45年（1970）京都市に文化財保護課が設置されて以後、ようやく本格的に実施されるようになった。それ以前における調査は、平安宮跡、西寺跡、六勝寺跡、鳥羽離宮跡等の特定な遺跡に限定され、それも微々たる件数でしかなかった。

文化財保護課設置以後、相次いで鳥羽離宮跡研究所、六勝寺研究会、平安京調査会などの調査研究団体が設立され、遺跡調査が序々に円滑に実施されるようになったのである。

昭和49年（1974）、懸案であった、京都市街地を南北に縦断する烏丸通での高速鉄道烏丸線（地下鉄）工事に伴う埋蔵文化財発掘調査のため、烏丸線内遺跡調査会が設立された。烏丸通は、現市街地の幹線道路であり、往来する車輶は1日数万台を数え、当初は調査自体に対して否定的な声もあった。しかし、遺跡の重要性と調査の必要性を認め、困難な条件下でありながらも系統的、計画的な調査が実施された。この調査は主要幹線の調査であり同様の問題を抱える都道府県、市町村から注目され、試金石とも言える調査例でもあった。

また昭和48年（1973）、京都市文化観光資源調査会埋蔵文化財部会では「平安京跡調査の基本構想」を示し、市域に点在する遺跡内で施工される工事に伴う試掘、立会調査を実施した。これら一連の調査から各遺跡の内容把握が一層明確となり、とりわけ市街地に重複する遺跡での調査方法として、有効性を序々に發揮、認識された。

昭和55年（1980）、京都市域遺跡試掘、立会調査が京都市埋蔵文化財調査センターから当研究所に委託された。

II 調査に至る手続

京都市内で施行される開発、再開発の予定地が埋蔵文化財包蔵地（周知の遺跡）内に該当するか否かの選別業務は、「京都市住宅局」が代行業務として行なっている。

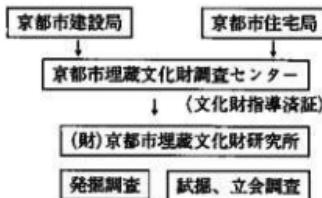
民間が施行する土木工事、造成工事、一般住宅工事などの各種工事申請は、まず原因者もしくは代理人が「建築確認申請」を京都市住宅局に提出する。同局は、日影、風致、防災等々、工事及び建造物によって生じる諸項目の審査、指導を規定業務とするが、同時点において予定地が埋蔵文化財包蔵地に該当するか否かの選別を行なっている。この業務は住宅局が、京都市文化観光局より協力依頼されたものである。この選別の資料としては、昭和55年度京都市文化観光局、財団法人京都市埋蔵文化財研究所発行の「京都市遺跡地図」にもとづいている。

同局で、予定地が遺跡内に該当する場合、建築確認申請者に対し、京都市埋蔵文化財調査センターで行政指導を受けることを通知され、京都市埋蔵文化財センターにて文化財保護法57条2にもとづく指導を受けるわけであるが、この時点において文化財行政機関も遺跡内の工事施工をはじめて知るわけである。

公共もしくは公共に準ずる団体の施工する埋蔵文化財包蔵地内の開発、再開発の場合、大規模な造成、土木工事の場合は京都市建設局から事前通知があることがあるが、ほとんどの場合、文化財保護法57条3にもとづき、埋蔵文化財調査センターに書類が提出され指導を受ける。

同センターでは、遺跡の内容と工事規模により、発掘調査、試掘調査、立会調査に分け、それに伴う調査費を国庫補助、原因者負担、国庫補助+原因者負担のいずれかに類別する。このうち国庫補助による試掘、立会調査が本報告書の対象である。

同センターよりの調査通知は、「京都市文化財調査指導カード」によって遺跡名、所在地、原因者、構造物、面積などの諸項目と、試掘、立会調査になった原因を記入、当研究所への通知は、原則として試掘調査は1ヶ月～1週間に前に、立会調査は1週間～前日である。



III 調査の方法

試掘、立会調査は通常の発掘調査に比べ、調査期間や調査条件などが、いちじるしく限定されているため、調査時には遺跡に対する臨機応変の対応と現場における即断即決が不可避である。

試掘調査については、今年度の調査件数は98件である。一般に、年間を通して調査可能な日は、日曜日、祭日、雨天を除くと250日前後であり、今年度の場合は1件あたり2.5日となるが、遺跡の内容いかんでは2~3日の調査日数が必要である。このため、ほとんど2日に1件の割で調査を実施していることとなる。

このような条件の中で、調査をより効率的に進めるため、われわれは、埋蔵文化財調査センターの文化財調査指導カードにもとづき、まず事前に依頼された調査予定地近辺の既調査データー（当研究所作成の遺跡基本カードにもとづく）やその他の諸資料から、遺跡の種類、遺構、遺物の遺存状態、遺物包含層の深度等の資料調査を行う。次いで、予定地の設計図面に試掘溝の位置、規模を設定する。

試掘調査は、当研究所の調査員、補助員で構成された4~5名の試掘班が、調査器材一式を常備した車輛で現場に赴き、調査を実施する。その際、原因者の提供した重機及び作業員を試掘班に加える。また調査の時点で調査の障害となる諸条件、たとえば器材の仮置、撤入、地質調査、基礎撤去、擁壁工事等がおこなわれていないことが、調査実施の際の必須条件である。

調査班は、現場に到着後ただちに調査区の形状、状態を考慮し、事前に予定した通りにトレーナー設定が出来るか否かを判断したのち、諸条件を考慮しながら調査を開始する。調査時点での遺構、遺物の遺存状態が良好な場合は、それをさらに詳細に把握するための調査に切換え、その調査結果にもとづいて発掘調査に移行させる場合もある。

立会調査の対象は、通常工事面積が200m²前後までの住宅建設や一般道路部で施工されるガス、上・下水道、電気、電話工事などで、工事期間が1~10日前後の期間のものを対象としている。試掘調査とは調査方法は全く異り、調査は工事施行側の工事掘削に随伴して実施するものであり、遺構、遺物の有無、深度、土層堆積の確認等をおこなう。調査は専従の立会班2名と、調査器材一式を常備した自動車での巡回方式で実施している。

今年度の調査件数は448件であるが、道路部での継続調査や、一調査地点でも2~3回調査が必要な場合や、調査予定日に施工されず、遅延するものを含めると約3倍の調査件数と

なる。また1年間を通じ、雨天、日曜日、祭日を除くと、調査可能日は試掘調査の場合と同じであり、日によっては7~8件集中することもあり、2班編成で調査を実施することもしばしばである。

試掘、立会調査での記録資料作成は、遺構、遺物の有無、土層堆積図、工事施工面積、掘削深、工事による遺跡の破壊状況、地点等について実施している。

こうして得た資料は、今後永久に調査記録として保存することにより、何年後、あるいは何十年後においても、同一地点や隣接地の調査が必要な際にそれを十分に活用できるよう配慮している。

IV 調査概要

55年度に実施した試掘、立会調査件数は、平安宮、京跡376件、鳥羽離宮跡24件、伏見城跡18件、中臣遺跡群8件、長岡京跡6件、白河街区跡10件、その他植物園北遺跡、北野庵寺、六波羅政庁跡、法性寺跡、深草遺跡、相国寺境内、中久世遺跡、大篠遺跡……等104件で、合計すれば546件に達する。

調査内容は、試掘調査98件、立会調査448件である。このうち試掘調査9件、立会調査2件については、遺構、遺物の遺存状態が良好だったため、発掘調査に切換えた。

これらの調査例のうち、下京区西七条南月詫町（図61-2）、平安京右京八条二坊では、七条大路の路面を検出し、南北両側溝及び建物跡を発見し、路面、両側溝は平安時代から室町時代にわたって元位置を踏襲しながら重複し機能していたことが確認された。

同じく中京区壬生西椿町8-9（図53-28）、平安京右京五条二坊の西堀川小路の調査では、平安時代の路面、東側溝、西堀川、築地とその内溝等を検出した。従来、左京、右京に存在したと考えられる東・西堀川小路の幅が問題視されてきたが、この発見によって堀川小路の構造、規模がはじめて明らかになった。

その他、広隆寺跡の一角と推定される右京区太秦東峰岡町では、古墳時代後期の整穴住居址群が発見され、秦氏の居住地の一端を明らかにすることができた。

広範囲な面積を有し、過去の調査においても建物跡の検出例の少なかった伏見城跡の伏見区桃山町三河48（図68-20）の調査では、径1mを超える柱穴を検出した。

立会調査の結果にもとづき、発掘調査に切換えた例としては、白河街区跡の左京区冷泉通川端東入秋篠町239, 240（図67-35）の調査を挙げることができる。ここでは、基壇跡、

柱穴群、雨落溝が検出され、白河南殿跡の一隔にあたることが確認されたことによって、白河街区跡における数少ない建築跡の発見例となった。

以上の様に試掘、立会調査から発掘調査に変更したものは、調査成果からみても非常に内容の濃いものといえる。その中でも、平安京条坊の遺構として西大宮大路西側溝、九条大路路面、七条坊門小路路面及び南側溝、西洞院大路西側溝、五条坊門小路北側溝、七条大路路面及び南側溝、道祖大路西側溝、麿司小路南側溝などの検出は、今後の研究にとって重要な資料となるものである。これらの新発見遺構は、いずれも当研究所で復元した平安京条坊推定地に一致することが確認されている。これら条坊遺構の発見地点は現在の道路部で施工されるガス、上・下水道、電々、電力等の工事に伴う調査で得られたものがきわめて多く、それは平安京の条坊が現市街地の町割りと重複していることの証明でもある。

また平安時代以前の遺跡発見例としては、中京区西ノ京南上合町（図49-21）で、縄文時代早期の押型文深鉢を、同じく中京区西七条西石ヶ坪町（図57-32）では、縄文時代晩期の深鉢を検出しており、その他弥生、古墳時代の遺跡を含めると数ヶ所の新発見遺跡を加えたことになる。

V まとめ

周知のように、近年、京都市内に点在する遺跡内の開発、再開発に伴う埋蔵文化財の破壊は増加の一途をたどっている。

これに対応すべき調査方法として実施してきた試掘、立会調査は、これまで述べてきたように、きわめて有効性の高い方法であることを確認した。とくに、市街地内に立地し、遺跡が数時期にわたって重層するという異例の状態で遺存する平安京跡、白河街区跡等の場合、われわれが実施してきた試掘、立会調査の方法は、特に有効であった。

平安宮の中心部と推定される宮跡では、100 m²未満の一般住宅がほぼ半分を占めており、年間100件を越える建築申請が提出され、かつ施工されている。これが市内全域ではおよそ1000件以上となり、これをすべて発掘調査の対象とすることは物理的に不可能である。したがって、場合に応じて試掘、立会調査を実施し、各遺跡内の遺跡、遺物の遺存状態、土壤堆積状態等を確認し、遺跡の現状、内容を事前に把握して、発掘調査実施の可否を判断し、また発掘調査の事前調査としての役割を果し得る方法として採用することも可能である。

試掘、立会調査は、その実施面積、調査条件などの制約による多くの困難を伴うが、一方では限定された範囲で実施される発掘調査の成果以上に、広範囲にわたって調査結果を数多く得られる点で意義が大きい。これは、市街地内における遺跡分布調査の役目を果すばかりか、旧地形の復元をも可能にし、将来は地下の歴史地図作成にまでつなげ得る方法であるといえよう。

なお、これまでの試掘、立会調査は周知の遺跡の範囲に限定されていた。しかし、周知の遺跡外でも東山区祇園石段下西入ルでは、平安時代末期から鎌倉時代にかけての建物跡が良好な状態で検出された。こうした例は、過去にも幾例があり、今後、京都市域における埋蔵文化財の保護と調査研究を一層進展させていく上で、このような問題を特に留意する必要があろう。

調査概要一覧表

凡例

平安宮	17-12	上・中立壳通土屋町東入田丸町380				
立会	10/13・15	53.82m ²	53.82m ²	1.0m	上部削平	HQ-39

表土下30cm 近現代層。30~72cm 灰色泥砂層は出土遺物なく時期不明。下層は灰黄色砂礫の無遺物層。遺構の検出なし。

平安宮	17-14	上・六軒町通中立売下ル四番町126
立会	9/16	240.39m ² 52.50m ² 1.5m 半壇 HQ-31

北部では、近現代層直下無遺物層となる。南部では、表土下46cm 近現代層。46~56cm 褐色砂泥層は出土遺物なく時期不明。下層は黄褐色泥砂の無遺物層。造構の検出なし。

平安宮	18-24	上・松屋町通中立売下ル神明町440-7				
立会	5/12	82.37m ²	49.27m ³	1.1m	半壌	HQ-10

平安宮	20-10	上・千本通下長者町下ル福島町375				
立会	3 / 7	210.70m ²	65.47m ²	1.2m	上部削平	HQ-59
北東部では、表土下60cm 近現代層。60~90cm 暗茶褐色砂泥層は出土遺物なく時期不明。下層は黄褐色砂泥の無遺物層。遺構の検出なし。						

平安宮	21-24	上・松屋町通出水上ル南清水町134-12・13				
立会	9/29	73.33m ²	42.64m ²	0.3m	未確認	HQ-35

平安宮	21-43	上・榎木町通智恵光院西入上ル西院町747			
立会	8 / 8	48.54m ²	28.75m ²	0.3m	未確認

掘削近現代層内にとどまる。

平安宮	23-76	中・西ノ京内烟町31
立会	4/15	184.09m ²
攝附近現代屋内にとどまる。		

平安宮		23-77	中・聚楽廻南町1			
試掘		7/29	772.31m ²	119.49m ³	1.4m	半壌
表土下104cm 近現代層。104~112cm 茶灰色砂泥層は江戸時代。112~122cm 茶褐色砂泥層 122~136cm 暗茶灰色砂泥層。2層は遺物散片にて時期不明。下層は淡黃灰色泥砂の無遺物層。	HQ-19					

平安宮	23-78	中・聚楽園南町1				
立会	4/11	28.82m ²	22.95m ²	0.4m	未確認	HQ-1

左京北辺二坊	25-22	上・西堀川通上長者町上ル皂栄町285			
立会	8/23	80.16m ²	64.17m ²	0.98m	未確認
堀川近現代層内にとどまる。					

左京一条二坊	25-31	上・下長者町通堀川東入紹巴町24-1			
立会	2 / 4	113.82m ²	2.00m ²	0.4m	未確認
掘削近現代層内にとどまる。					

左京一条二坊	25-38	上・出水通油小路東入丁字風呂町88
立会	7 / 10・14	128.57m ²
表土下55cm 近現代層。55~110cm 濃茶灰色泥砂焼土混層は江戸時代。		
HL-69	1.1m	上部削平

左京一条二坊	25-40	上・葭屋町通出水下ル元福大明神町302- 2				
立会	12/ 9	73.05m ²	58.33m ²	1.2m	未確認	HL-135

左京一条二坊	25-48	上・大宮通下立売下ル菱屋町807
立会	12/ 8	187.91m ²
表土下110cm 近現代層。110~140cm 茶灰色粘土層は出土遺物なく時期不明。遺構の検出なし。		

左京北辺一条三坊	26-11	上・京都御苑
立会	6/25~7/21	232.00m ²
表土下45cm 近現代層。45~93cm 灰褐色泥砂層は江戸時代。93~106cm 暗灰褐色泥炭砂混層は出土遺物なく時期不明。106~132cm 喙茶灰色泥砂層は平安時代後期。		
		HL-62

左京北辺三坊	26-42	上・下立亮通烏丸西入五町目町182-1			
立会	12/23	77.98m ²	43.47m ²	0.4m	未確認
据削近現代層内にとどまる。					

左京三条一坊	28-8	中・西ノ京北型町3			
立会	4/24	679.68m ²	183.24m ²	1.9m	未確認
据削近現代層内にとどまる。					

左京三条一坊	28-18	中・西ノ京池ノ内町30			
立会	9 / 9	46.04m ²	36.74m ²	1.5m	半壌
表土下90cm 近現代層。90~105cm 灰色砂礫層105~150cm 茶灰色細砂層。2層は出土遺物なく時期不明。遺構の検出なし。					

左京二条二坊	29-3	上・猪熊通丸太町上ル木屋之町480
試 摘	1 / 9	439.67m ²
東部では、表土下60cm 近現代層。60~110cm 暗茶灰色泥砂層は江戸時代。下層黄褐色砂泥層で江戸時代の土壤4基、室町時代の土壤1基検出。西部では、表土下100cm 黄褐色砂泥層で江戸時代の土壤1基、室町時代の土壤2基、南北方向の溝1条、平安時代の土壤2基を検出。		

左京二条二坊	29-33	中・小川通二条上ル梶屋町607			
立会	12/26	90.44m ²	66.62m ²	0.3m	未確認
掘削近現代層内にとどまる。					

左京三条三坊	30-33	中・西洞院通押小路下ル押西洞院町617-1			
試 摺	9 / 18	254.35m ²	203.38m ²	1.68m	半壌
東部では、近現代の土壌が無遺物層まで達していた。中央部では、表土下90~120cm 灰褐色泥砂層120~140cm 淡綠灰色泥砂層、2層は平安時代後期。淡綠灰色泥砂層より土師器皿、軒丸瓦出土。下層黄褐色砂層で平安時 代後期の土壌2基検出。境内より土師器皿、白磁出土。(図版9)					

左京四条一坊	32-3	中・三条通大宮西入上瓦町52-4
立会	6 / 2 * 7	87.34m ²
表土下70cm 近現代層。70~120cm 灰色泥土層は遺物微片にて時期不明。		
		HL-47

左京四条一坊	32-7	中・壬生馬場町16				
立会	4/30	139.23m ²	110.74m ³	2.0m	全壇	HL-20

左京五条一坊	32-22	中・壬生郷ノ宮町31
試掘・立会	8/20~25, 9/5, 10/21	12778.03m ²
西部では、江戸時代の土壌が無遺物層まで達していた。東部では、表土下20cm 近現代層。下層黄褐色砂泥の無遺物層で江戸時代の土壌25基、杭跡38基、平安時代後期の土壌1基、井戸1基、東西方向の溝1条検出。溝内より土師器皿、軒丸、軒平瓦出土。		

左京五条二坊	33-20	下・油小路通四条下ル石井筒町543			
立会	6/16	274.75m ²	77.94m ²	0.9m	上部削平 HL-50
表土下50cm 近現代層。50~90cm 褐灰色泥砂層で江戸時代の土壌1基検出。					

左京五条三坊	34-50	下・烏丸通仏光寺下ル大政所町678				
試 報	2 / 25・26	663.82m ²	542.67m ²	2.35m	全帳	HL-171

東部と中央部では、近現代及び江戸時代の遺構、包含層が表土下230cm 黒色砂礫の無遺物層まで達していた。西部では、表土下40cm 近現代層。40~120cm 茶灰色砂泥層120~160cm 茶褐色砂泥層。2層は江戸時代。160~230cm 黄褐色砂泥層より古墳時代の土師器類など遺物少量が出土。下層は黄褐色砂礫の無遺物層。黄褐色砂泥層で江戸時代の土壠5基、室町時代の土壠1基検出。少量の遺物を包含する。

左京四条四坊	35-8	中・新京極通三条下ル桜之町407-1				
立会	3/26・27	336.41m ²	263.44m ²	2.5m	全壟	HL-191

表土下160cmまで調査以前に工事掘削で削平され、調査不可能。160~250cm淡灰色砂泥層は出土遺物なく時期不明。下層灰色砂礫の無遺物層で鎌倉時代の土壙1基検出。壇内より土師器皿、白磁碗、山茶碗出土。調査区は鴨川の旧流路と考えられていたが、今回の調査で遺跡の残存が確認された。

左京四条四坊	35-9	中・新京極通三条下ル桜之町407-2			
立会	3/26	198.50m ²	172.44m ²		未確認 HL-192

左京五条四坊	35-78	下・松原通柳馬場東入松原中之町404				
試 挖	10/15	302.50m ²	225.02m ²	2.5m	半壌	HL-118

左京七条一坊	36-34	下・花屋町通島原大門下ル二人司町地先			
立会	3/24	49.50m ²	49.50m ²	1.4m	全壟
工事掘削は、幅、深さとも旧埋設管工事掘方内にとどまる。					

東市跡(左京七条二坊)	37-35	下・堀川通正面珠数屋町				
立会	12/8~10	122.25m ²	93.36m ²	1.9m	全壟	HL-134
中央部で表土下40cm 近現代層。40~55cm 暗茶灰色泥砂疊混層55~65cm 暗灰色砂泥層65~70cm 焼土層70~85cm 茶灰色泥砂疊混層85~105cm 暗褐色泥砂疊混層105~120cm 暗茶灰色砂泥疊混層120~140cm 黄灰色砂泥疊混層。下層は灰色粘土の無遺物層。厚さ100cmに江戸時代から平安時代中期の路面を5面確認する。路面は礎が混入し、固くしまっている。江戸時代の土壙3基、室町時代の土壙2基、鎌倉時代の土壙2基、平安時代後期の土壙4基、中期の土壙2基、前期の土壙1基を検出。平安時代後期の土壙より土師器皿、白磁碗、須恵器杯出土。推定七条坊門小路に位置する。(図版3・7・11・13)						

左京七条二坊	37-36	下・東中筋通正面土上ル柳町336			
試 挖	1/30	289.07m ²	224.10m ²	1.5m	半壌
西部では、表土下90cm 近現代層。90~120cm 茶褐色砂泥層は室町時代。下層淡黄灰色砂泥の無遺物層で室町時代、鎌倉時代の土壌各1基検出。東部では、表土下120cm 近現代層。下層黄灰色砂泥の無遺物層で江戸時代の井戸1基検出。井戸内より五鉢四種子鉢1個出土。(図版10・13)					

左京七条三坊	38-29	下・若宮通花屋町下ル北町189,189-5				
立会	12/16・17	225.14m ²	140.03m ²	2.4m	全壟	HL-141

左京七条三坊	38-34	下・若宮通北小路上ル鍵屋町642			
立会	7/10	256.65m ²	148.00m ²	0.6m	未確認
掘削近現代層内にとどまる。					

左京七条四坊	39-32	下・西木屋町通七条上ル新日吉町129				
立会	2/27	300.29m ²	178.02m ²	1.4m	半壇	HL-176
表土下50cm 近現代層。50~90cm 灰褐色砂泥層は出土遺物なく時期不明。90~140cm 灰色砂礫層は旧流路の堆積土で江戸時代の遺物が出土。						

左京八条四坊	43-1	下・七条通木屋町下ル大宮町463-4			
立会	7/25	49.10m ²	39.22m ²	1.1m	上部削平
表土下85cm 近現代層。85~110cm 暗灰色泥砂層は江戸時代。					

右京北辺四坊	44-4	右・谷口園町24
立会	4/30	112.56m ²
調査予定日以前に建築済みにて調査不可能。		

北野寺	46-12	北・北野西白梅町71
立会	8/30	135.89m ²
表土下30cm 近現代層より奈良時代前期の瓦出土。		
		RH-23

右京北辺二坊	46-28	北・大将軍西町169
立会	11/27	75.22m ²
掘削近現代層内にとどまる。		

右京北辺二坊	46-29	北・大将軍川端町103
立会	8/25	81.90m ²
表土下60cm 近現代層。60~105cm 黄褐色微砂層は出土遺物なく時期不明。遺構の検出なし。		

右京一条二坊	46-44	上・御前選下立売下ル下之町406,408			
立会	4/26	1201.71m ²	174.36m ²	0.5m	未確認
掘削近現代層内にとどまる。					

右京二条四坊	47-2	右・太秦安井馬場町1
立会	8/12	171.41m ²

右京二条四坊	47-5	右・太秦安井柳通町
立会	6/10	95.16m ²
表土下70cm 近現代層。下層は灰白色砂礫の無造作層。埴縫、包含層の検出なし。		
HR-30	半壌	0.9m

右京三条四坊	47-9	右・山ノ内御堂殿町33-7
立会	12/11	146.74m ²
		81.67m ² 0.45m 半壌 HR-91

表土下25cm 近現代層。25~40cm 茶褐色泥砂層40~45cm 暗茶褐色砂泥層。下層は黄灰色砂泥の無遺物層。

右京三条四坊	47-10	右・山ノ内御堂殿町27
試 挖	7/23	4168.67m ²
東部は、池の跡で湧水多く調査不可能。中央部では、表土下120cm 近現代層。下層濃茶灰色泥砂層は遺物微片にて時期不明。西部では、表土下70cm 近現代層。下層は明黄灰色泥土の無機物層。		

右京三条四坊	47-11	右・山ノ内御堂殿町20
試 挖	6 / 11	1095.88m ²
表土下78cm 近現代層。下層は黄白色粘土の無遺物層。造構、包含層の検出なし。		
		HR-32

右京三条二坊	49-37	中・西ノ京銅駄町40-1, 41-2			
立会	2/20	76.44m ²	45.72m ²	1.2m	半壇
表土下50cm 近現代層。50~70cm 暗褐色泥砂層は平安時代中期。下層灰黄色粘土の無遺物層で平安時代中期の土壤6基検出。壇内より土師器皿、黒色土器碗、灰釉碗が出土する。					

右京五条四坊	51-12	右・西院安塚町33				
立会	8 / 5	16.50m ²	16.50m ²	1.2m	全壙	HR-61

右京五条四坊	51-14	右・西院日照町40地先
立会	7/31~8/4	68.20m ²
表土下80cm 近現代層。下層褐色砂礫層は出土遺物なく時期不明。遺構の検出なし。		
HR-60	1.2m	全壙

右京四条三坊	52-2	右・西院金櫻町 8
立会	8/21	8146.86m ²
掘削近現代層内にとどまる。		

右京四条三坊	52-3	右・西院春栄町 7-1
試掘	9/16	1905.23m ²
表土下130cm近現代層は黄褐色粘度の無遺物層。造構、包含層の検出なし。		

右京五条三坊	52-14	右・西院西矢掛町4,5
立会	2/28	4295.50m ²
表土下77cm 近現代層。77~97cm 黄褐色泥土層97~117cm 暗茶灰色泥土層。2層は遺物微片にて時期不明。遺構の検出なし。		

右京四条一坊	54-7	中・壬生森町38-11
立会	9/25	52.44m ²
表土下15cm 灰色泥砂層。15~30cm 暗灰褐色砂泥疊混層は平安時代後期。30~50cm 暗灰褐色砂泥層は遺物微片にて時期不明。遺構の検出なし。		
上部削平 HR-75		

右京五条一坊	54-31	中・壬生松原町67
立会	8/20	67.86m ²
掘削近現代層内にとどまる。		

右京六条三坊	56-2	右・西院西寿町18-2
立会	11/13	484.80m ²
東部では、表土下75cm 近現代層。下層は褐色砂疊の無遺物層。西部では、表土下100cm 近現代層。100~170cm は池あるいは旧流路と思われる泥土、砂疊層で、平安時代の包含層。礪文土器と考えられる土器片が出土する。		

右京七条三坊	56- 9	下・西七条八幡町30
試掘・立会	6/27・28, 11/13・15	1746.00m ²
北東部では、表土下65cm 近現代層直下黄褐色砂泥の無遺物層で東西方向の溝1条、土壤9基検出するが時期不明。西南部では、表土下85cm 近現代層。85~110cm 淡黄褐色砂泥層より江戸時代の遺物とともに平安時代の土師器、須恵器、縄文土器出土。110~150cm 褐色粗砂と砂礫の互層で、旧流路の堆積土。出土遺物なく時期不明。		

右京七条三坊	56-13	右・西京極大門町19	.
試 標	7 / 16	747.03m ²	452.25m ²
表土下145cm 近現代層。145~160cm 青灰色泥炭層160~180cm 黄褐色粘土層。2層は遺物微片にて時期不明。			
下層は灰色砂礫の無遺物層。遺構の検出なし。			

右京六条二坊	57-1	右・西院西高田町20
立会	7/25	57.27m ²
堀削は旧基礎の堀方内にとどまる。		

右京九条三坊	60-10	南・吉祥院西ノ庄西中町2~4
試 墓	1 / 14	1307.61m ² 416.38m ² 3.0m 全壙 HR-100
調査区全域が表土下300cmまで現代の土取跡である。		

右京八条一坊	62-2	下・西七条南東野町8
試 挖	7/25~31	403.45m ²
調査区全域で表土下20cm 近現代層直下、黄褐色砂泥の無遺物層。南部では、江戸時代の土壌2基、室町時代の井戸1基を検出。北部では、礫を敷き詰めた路面を検出。推定七条大路に位置する。江戸時代8基、室町時代3基、平安時代後期3基の土壌及び室町時代の柱穴2基、井戸1基検出。(図版3)		

右京八条一坊		62-3	下・西七条東久保町18-21				
立会	12/25	46.20m ²	45.15m ²	0.2m	未確認	HR-98	

右京九条一坊	62-15	南・唐橋井園町49
立会	6/26	586.56m ²
掘削近現代層内にとどまる。	169.57m ²	0.44m

中臣遺跡	63-30	山・勅修寺西栗栖野町33
試 堀	12/15	325.00m ²
表土下30cm 近現代層。下層は黄褐色砂泥の無遺物層。遺構、包含層の検出なし。		

山科本願寺跡		山・西野様子見町1-7
立会	12/15	609.65m ²
		162.12m ²

元豊敷町庵寺		山・大塚大岩27-14
立会	6 / 3	101.11m ²
掘削近現代層内にとどまる。		

六波羅政庁跡		東・七条通本町東入本町新六丁目215	
立会	10/17	88.69m ²	62.12m ²
表土下65cm 近現代層。65~83cm 灰色砂泥層は遺物微片にて時期不明。下層は灰色粗砂の無造物層。遺構の検出なし。			

鳥辺野		東・今熊野劍ノ宮町 8-16
立会	5/8	92.34m ²
掘削近現代層内にとどまる。		

鳥辺野		東・今熊野剣ノ宮町 8-11		
立会	5 / 8	73.08m ²		
表土下40cm 近現代層。40~70cm 青灰色泥砂層は出土遺物なく時期不明。下層は褐色砂泥の無遺物層。遺構の検出なし。				
	43.50m ²	1.0m	半槻	RT-6

鳥羽野		東・今熊野南日吉町
立会	6 / 7	2900.00m ²
表土下200cm 近現代層。直下岩盤となる。透構、包含層の検出なし。		
2.0m	全壟	RT- 8

法住寺殿跡		東・大佛南門通大和大路東入上池田町540-3, 今熊野池田町34
立会	1/12	164.59m ² 140.00m ² 2.2m 半壇 RT-29
表土下120cm 近現代層。下層は淡黄灰色泥砂の無造物層。造構、包含層の検出なし。		

法性寺跡		東・本町十九丁目739
立会	6/25	145.78m ²
掘削近現代層内にとどまる。		

法性寺跡		東・本町十五丁目815-3			
立会	8/28	118.79m ²	65.93m ²	1.4m	半壌 RT-17

鳥羽離宮跡	64-33	伏・中島前山町				
立会	6/17	73.27m ²	73.27m ²	1.05m	全壙	TB-11
表土下75cm 近現代層。75~105cm 淡青灰色微砂層は出土遺物なく時期不明。遺構の検出なし。						

鳥羽離宮跡	65-88	伏・竹田内畠町地先
立会	5/17	81.60m ²
発掘調査済み。		

鳥羽離宮跡	65-126	伏・竹田真幡木町41-4					
立会	11/27	142.74m ²	84.51m ²	0.3m	未確認	TB-28	
掘削近現代層内にとどまる。							

鳥羽離宮跡	65-152	伏・竹田田中宮町34,他
試 挖	7 / 10	10927.00m ²
南部では、表土下70cm 近現代層。下層は黄灰色粘土の無遺物層。他の部分では、表土下70~110cm 灰褐色砂泥層110~185cm 淡灰色砂礫層。2層は旧流路の堆積土である。遺構、遺物の検出なし。		

法成寺跡		上・河原町通荒神口下ル上生洲町224-4
立会	9/16	55.78m ²
表土下120cm近現代層。120~152cm 黄褐色砂礫層は江戸時代。		
		44.50m ²
		1.2m
		上部削平
		KS-10

伏見城跡	68-18	伏・桃山羽柴長吉東町65-2				
立会	4/28	165.30m ²	99.10m ²	2.0m	全般	FD- 6

伏見城跡	68-27	伏・風呂屋町
試 挖	6 / 12	1061.66m ²
表土下70cm 近現代層。70~150cm 黄褐色粗砂層は旧流路の堆積土。出土遺物なし。下層暗灰色泥砂層は江戸時代。		
		565.00m ²
		1.52m
		上部削平
		FD- 8

伏見城跡	68-38	伏・西大手町316	
立会	6/10, 7/3・4	361.75m ²	361.75m ²
表土下100cm 近現代層。100~200cm 灰褐色粗砂層は江戸時代。遺構の検出なし。			

伏見城跡	68-59	伏・両替町三丁目338-1				
立会	4/26	123.22m ²	73.38m ²	0.3m	未確認	FD-5

伏見城跡	68-62	伏・本材木町697
立会	1/19	415.24m ²
表土下20cm 近現代層。20~50cm 焼土層は江戸時代。		

伏見城跡	69-78	伏・桃山町島津69
試 挖	4 / 26	990.00m ²
表土下20cm 近現代層。下層は黄灰色砂泥の無遺物層。遺構の検出なし。		

伏見城跡	69-79	伏・桃山町島津69
試 挖	4 / 26	4583.00m ²
表土下40cm 近現代層。下層は黄褐色砂泥の無遺物層。遺構の検出なし。		
		990.00m ²
		0.4m
		上部削平
		FD-12

深草坊町遺跡	70-38	伏・深草坊町12-2・3				
立会	10/28	942.28m ²	160.00m ²	2.2m	全壙	TB-25
表土下175cm 近現代層。175~220cm 茶褐色泥砂層より奈良時代後期の土師器出土。下層黄灰色粘土層は無遺物層。						

中久世遺跡隣接地	71-19	南・久世中久世町二丁目99-4				
立 会	11/27	260.57m ²	109.35m ²	0.9m	未確認	MK- 5

長岡京跡	72-15	伏・羽束師斐川町
立会	10/28	17.05m ²
表土下70cm 近現代層。下層は褐色砂層の無遺物層。遺構、包含層の検出なし。		
3.5m	全壙	NG-5

長岡京跡		伏・久我西出町11-2	
立会	7/17	274.72m ²	140.00m ²
調査予定日以前に工事掘削及び基礎コンクリート終了にて調査不可能。			

図 版



試掘調査区全景



調査区全景



調査風景



遺構検出状況



調査風景



測量風景



一般住宅立会調査



断面観察



道路部立会調査



ポーリング探査



夜間立会調査



調査予定日以前に掘削終了



西大宮大路東側溝 平安宮 (HQ-51)
1822-20



西堀川小路東側溝 右京六条二坊 (HR-76)
1853-28



五条坊門小路南側溝 左京五条一坊 (HL-167)
1832-23



七条大路路面 右京八条一坊 (HR-55)
1862-2



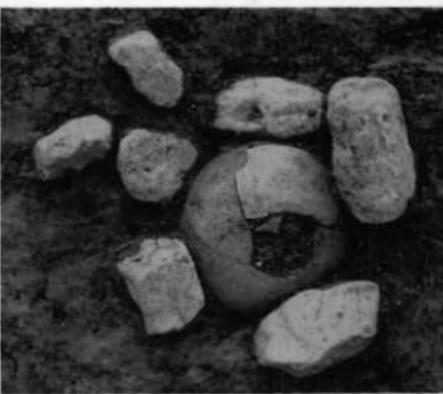
七条坊門小路路面 左京七条二坊 (HL-134)
1837-35



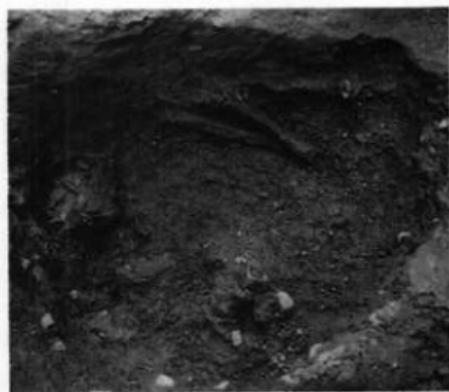
七条大路路面 右京八条二坊 (HR-113)
1861-2



柱穴、土壤検出状況 左京三条三坊 (HL-19)
[B630-37]



須恵器長頸壺出土状況 右京五条二坊 (HR-26)
[B63-28]



人骨出土状況 左京三条三坊 (HL-19)
[B630-37]



軒平瓦出土状況 六波羅政府跡隣接地 (RT-24)



瓦器羽釜・鍋出土状況 左京五条三坊 (HL-163)
[B634-43]



土師器出土状況 中臣遺跡群 (RT-19)
[B63-57]



1



5



2



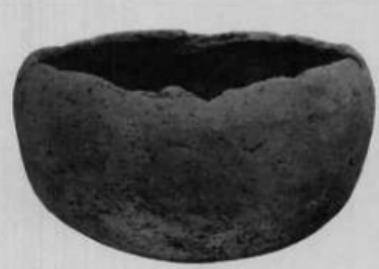
6



3



7



4



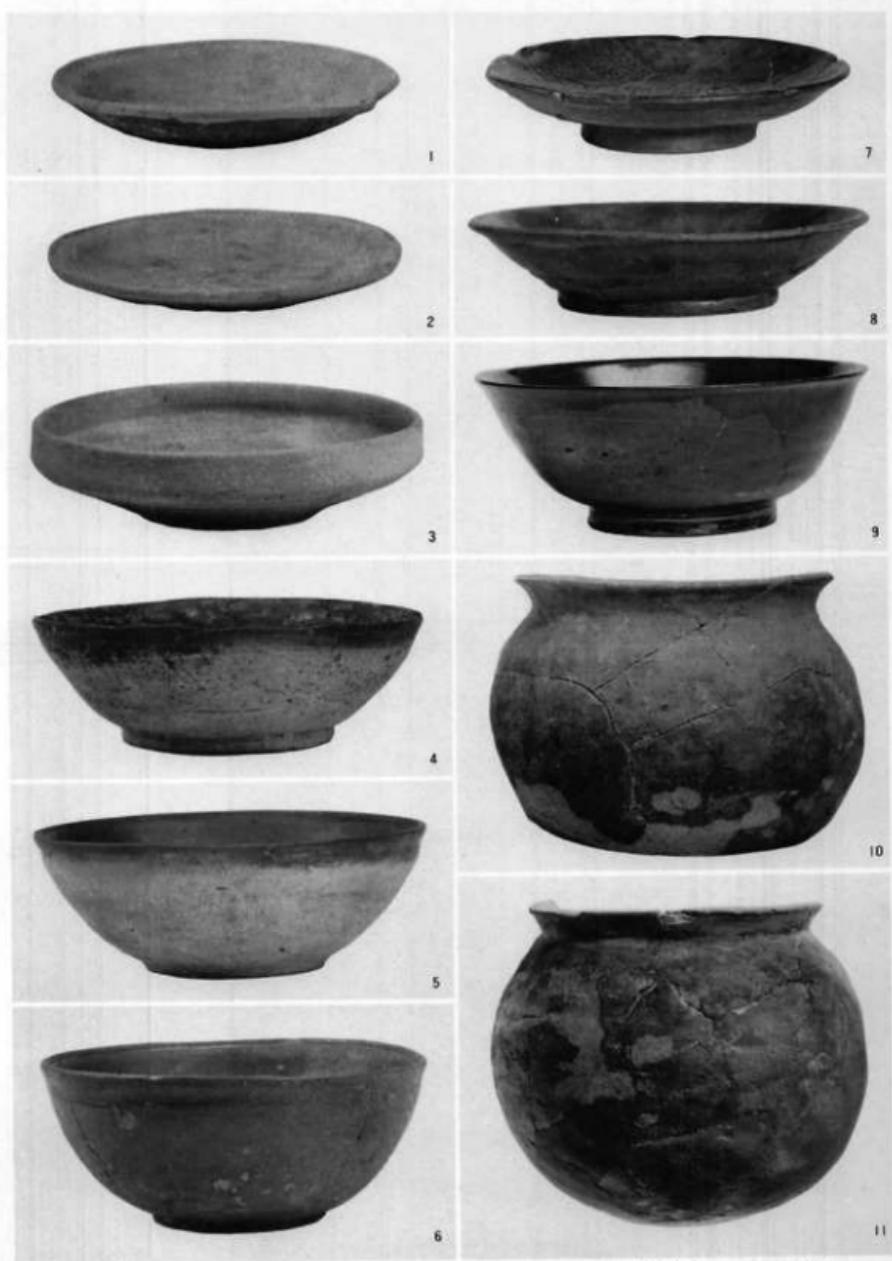
8

1 深鉢（縄文時代早期）右京二条二坊 [HR-16] 2 深鉢（縄文時代晚期）右京七条二坊 [HR-27]

3, 4, 8 土師器片口鉢・鉢・壺（古墳時代後期）中臣遺跡群 [RT-10] [RT-31] [TB-9]

5 鉢（縄文時代）勸修寺境内隣接地 [HR-57] 6 壺（弥生時代中期）左京二条二坊 [HL-161] [TB-9]

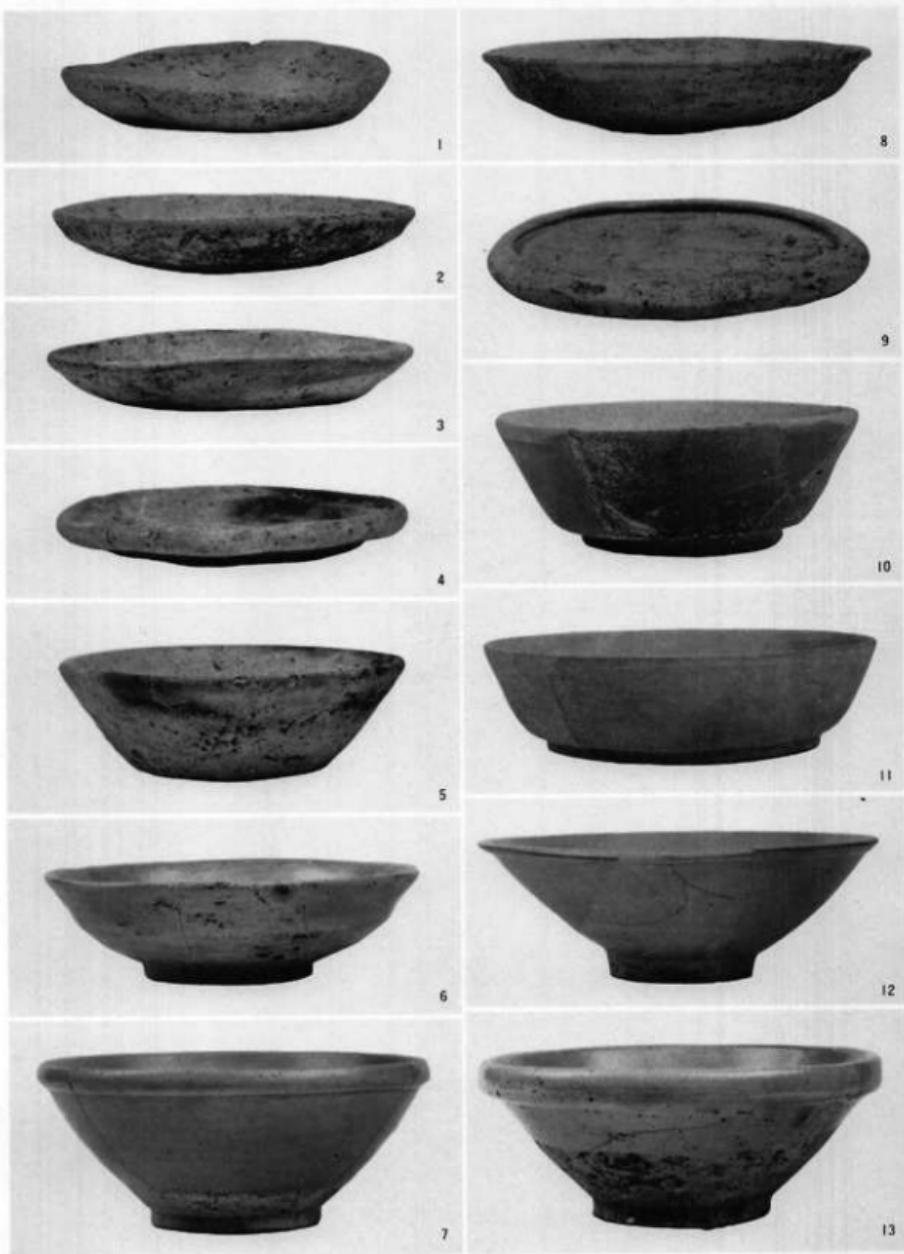
7 壺（弥生時代終末期～古墳時代前期）下鳥羽遺跡 [TB-9]



1, 2 土師器皿 3 須惠器皿 4 ~ 6 黑色土器挽 7 緑釉輪花皿 8 緑釉皿

9 緑釉椀 10, 11 土師器甕 右京北邊二坊

(HR-74)
1046-31



1 土師器皿 7 白磁碗 左京三条三坊 (HL-25)
二坊 (HL-134) 8, 9 土師器皿 左京四条三坊 (HL-56)
2~4 土師器皿 5 須恵器杯 左京七条
二坊 (HL-35) 6, 12, 13 白磁碗 (HL-8)
10, 11 須恵器碗 西寺跡 (HR-8)
12, 13 須恵器碗 西寺跡 (HR-19)



1



8



2



9



3



10



4



11



5



6



12



7



13

1, 2 土師器皿 仁和寺子院跡 (UZ-6) 3, 4, 8, 9 土師器皿 5 施釉皿 6 施釉碗

7 須恵器壺 10 土師器杯 11 瓦器鍋 12 瓦器両口鉢 13 瓦器羽釜 左京五条三坊



1 軒平瓦 六波羅政序跡隣接地 (RT-24) 2 軒平瓦 左京八条四坊 (HL-157)
軒丸瓦、円宗寺跡 (UZ-15) 4 軒平瓦 (記銘) 西寺跡 (HR-8)
(HL-56) 7 軒丸瓦 法界寺跡 (FD-14) 8 軒丸瓦 左京三条三坊 (HL-106)
5943-3 5962-19 5930-33



2



3

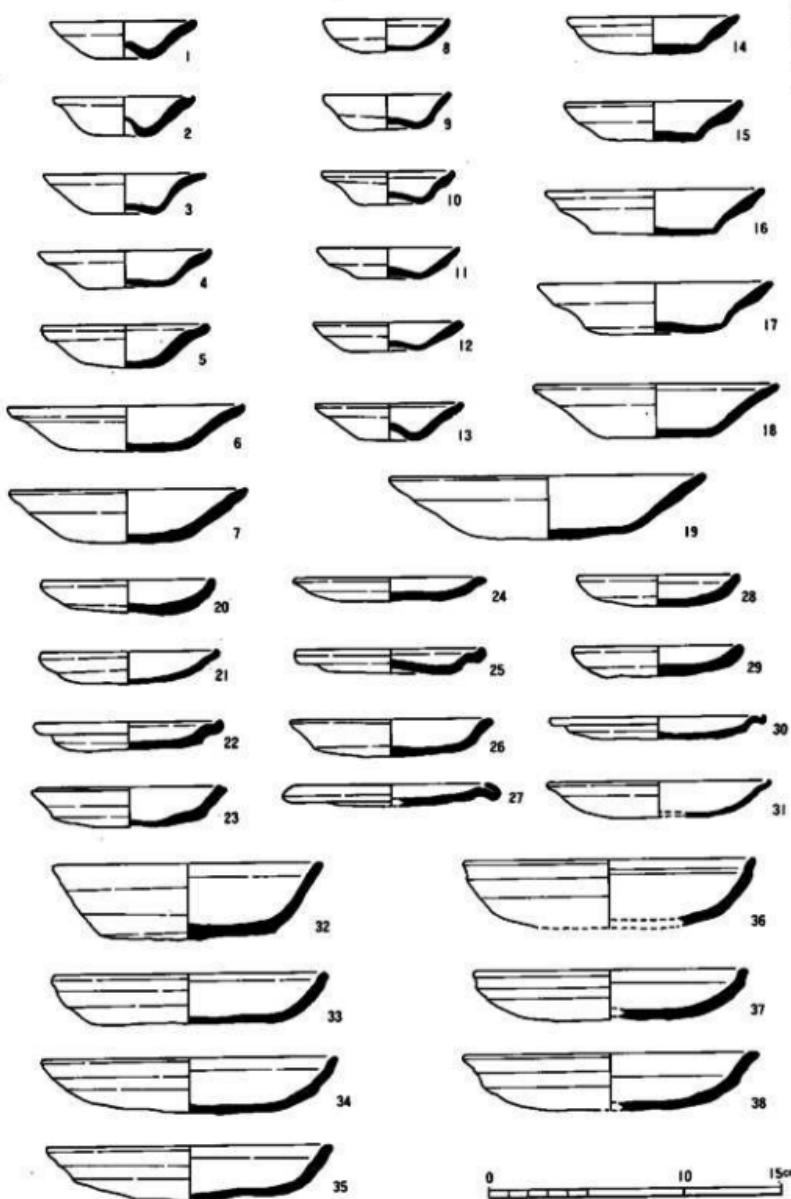


4

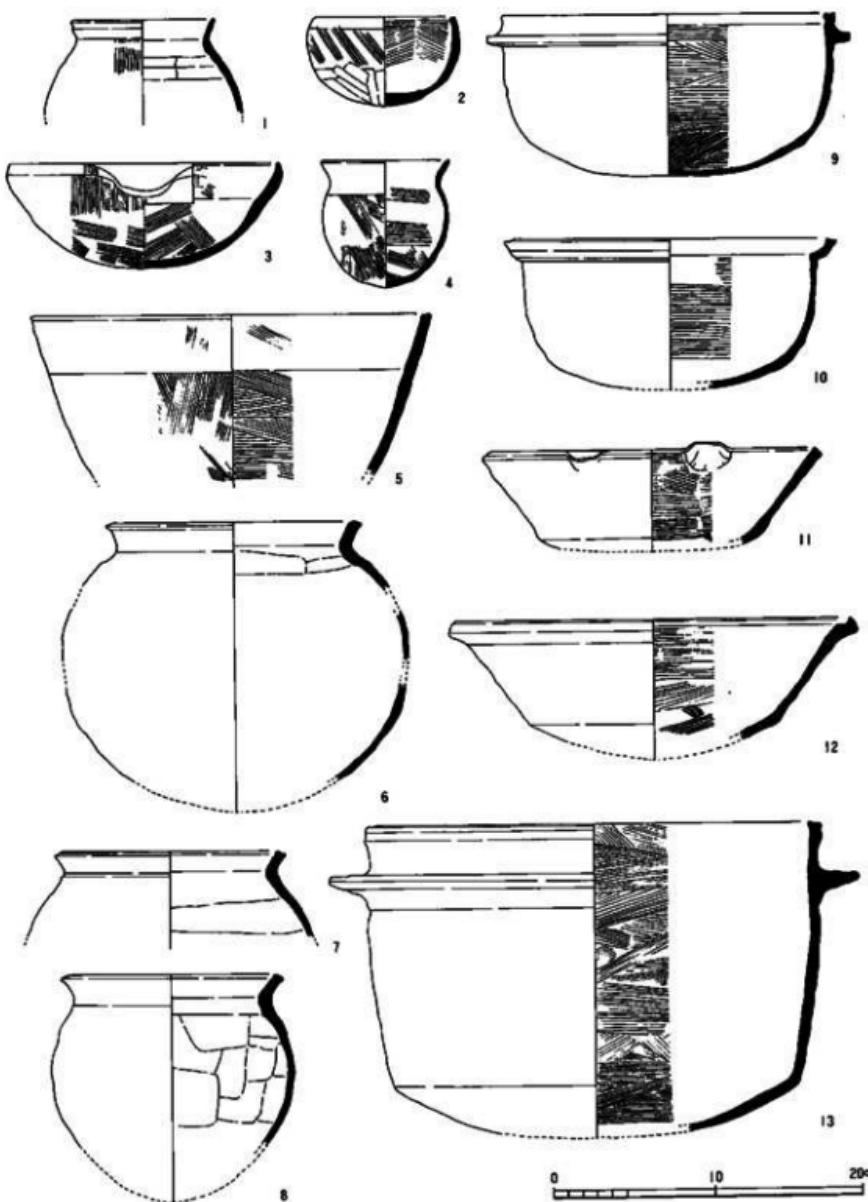
1 五鉢四種子鉢（青銅） 左京七条二坊 (HL-152)
1937-36

3 絹筒（青銅） 左京三条三坊 (HL-19)
1930-37

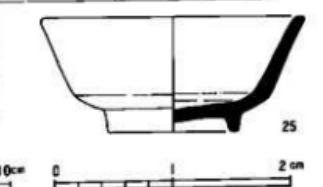
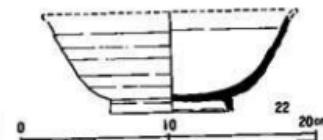
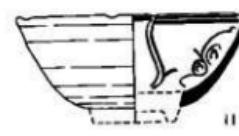
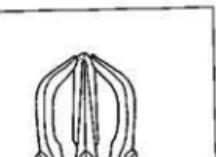
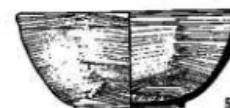
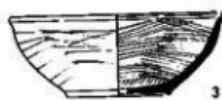
2 ミニチュア椀（鈸陀） 左京四条三坊 (HL-66)
1934-3



1~7 土師器皿 仁和寺子院跡 (UZ-6) 8~10, 28, 29 土師器皿 左京三条三坊 (HL-75)
 11~23, 33~35 土師器皿 32 土師器杯 左京五条三坊 (HL-163) 24~26, 36 土師器皿
 左京七条二坊 (HL-134) 27, 37, 38 土師器皿 左京四条三坊 (HL-56) 30, 31 土師器皿
 右京北辺二坊 (HL-74) (HL-31)



1～5 土師器壺・鉢・片口鉢・壺、中臣遺跡群 (RT-10) 6～8 土師器壺 右京北辺二坊 (HR-74)
9, 10 瓦器羽釜・鍋、左京三条三坊 (HL-75) 11～13 瓦器両口鉢・鍋・羽釜 左京五条三坊
(HL-163)



- 1 ~ 5 黒色土器椀 16 須恵器皿 17 灰釉椀 18 緑釉椀 20, 21 緑釉輪花皿・皿
 22 緑釉椀 右京北辺二坊 (HR-74)
 25 ミニチュア椀 (盤陀) 左京四条三坊 (HL-56) 6, 10 白磁椀 左京三条三坊 (HL-75)
 左京五条三坊 (HL-163) 11 青磁碗 左京八条一坊 (HL-96) 7 ~ 9 白磁椀
 西寺跡 (HL-8) 13 須恵器杯 左京七条二坊 (HL-134) 14, 15 須恵器杯 19 緑釉耳皿
 (HL-19) 23 五鉢四種子鉢 (青銅) 左京七条二坊 (HL-152) 24 経筒 (青銅) 左京三条三坊
 (HL-37)

調査地点位置図

凡　　例



発掘調査地点



試掘調査地点



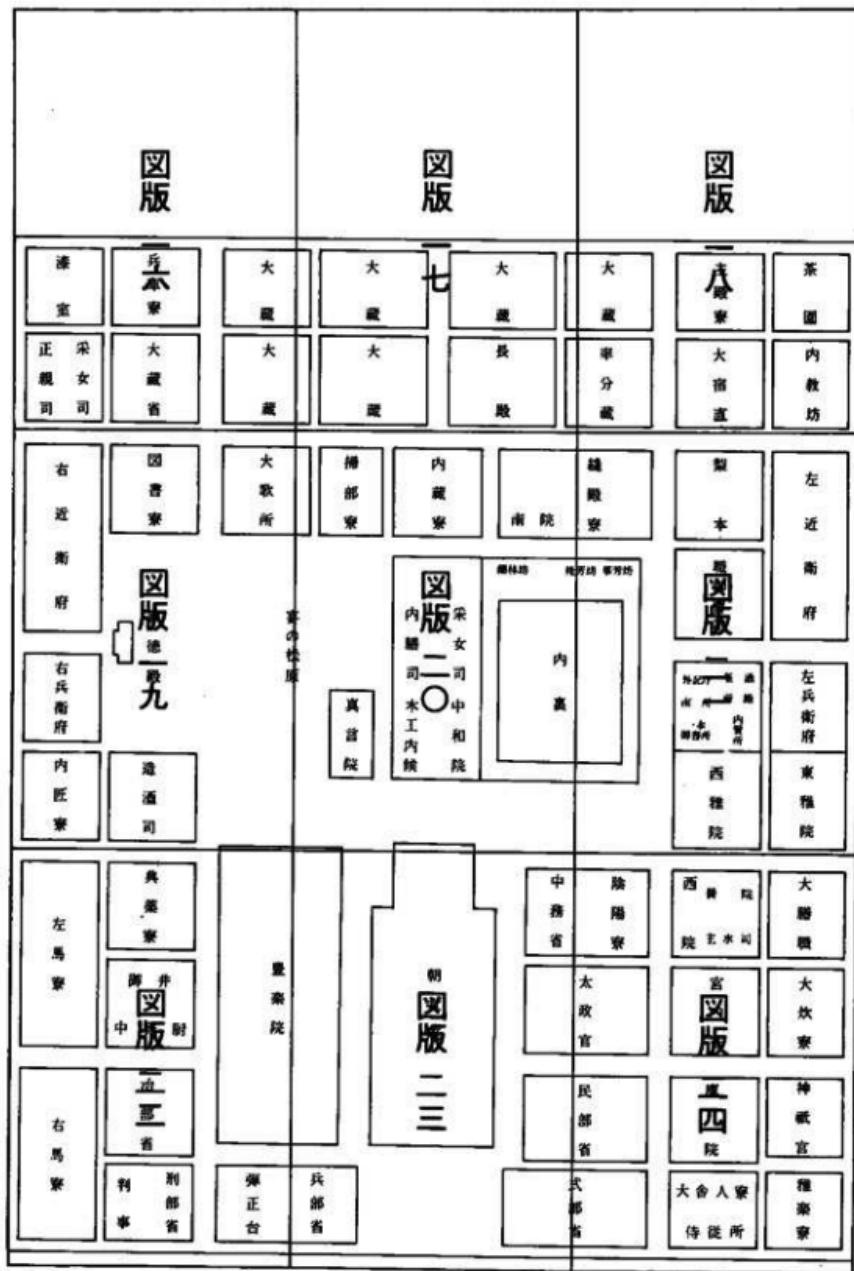
立会調査地点



遺跡範囲

平安宮図葉分割図

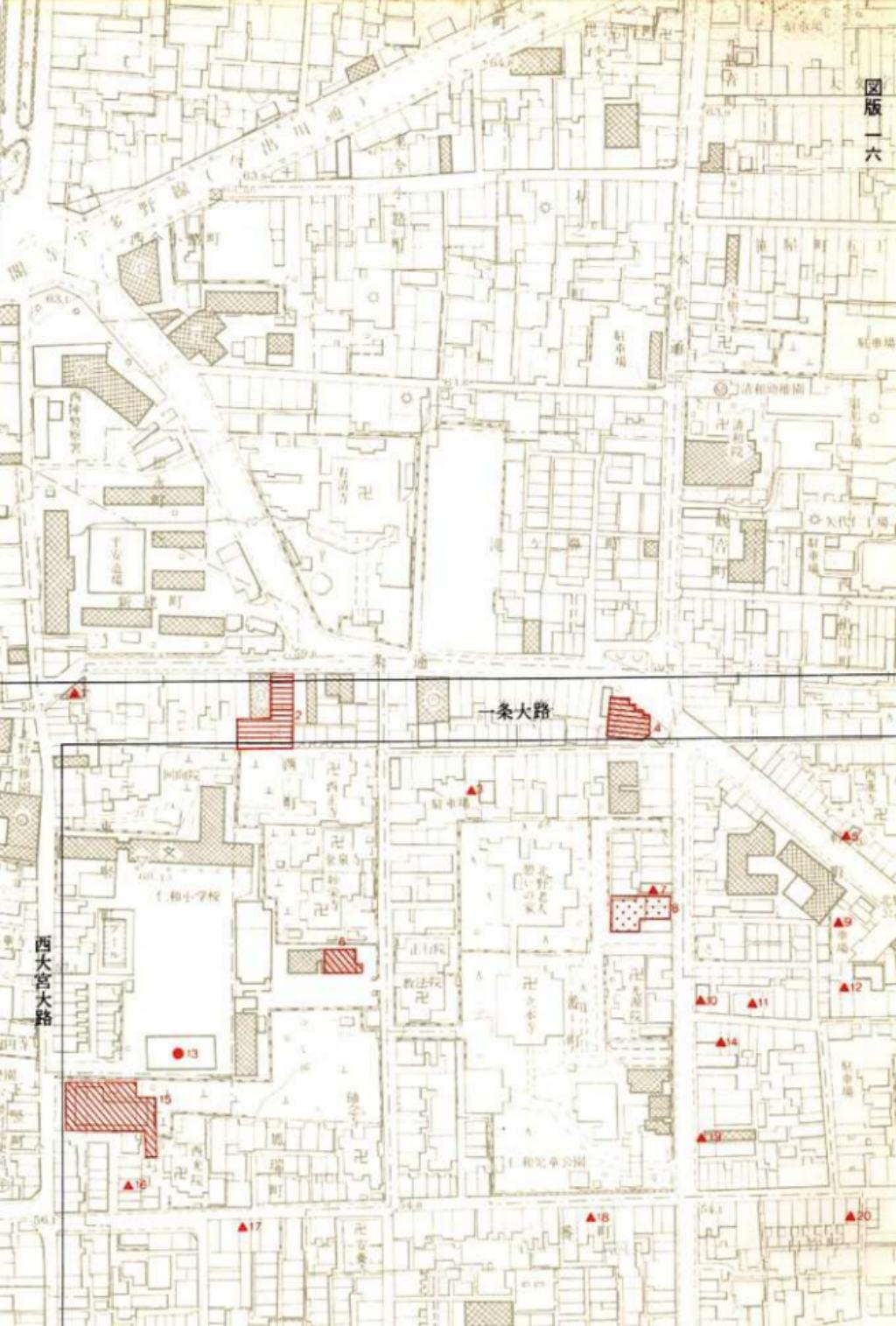
圖版
一四

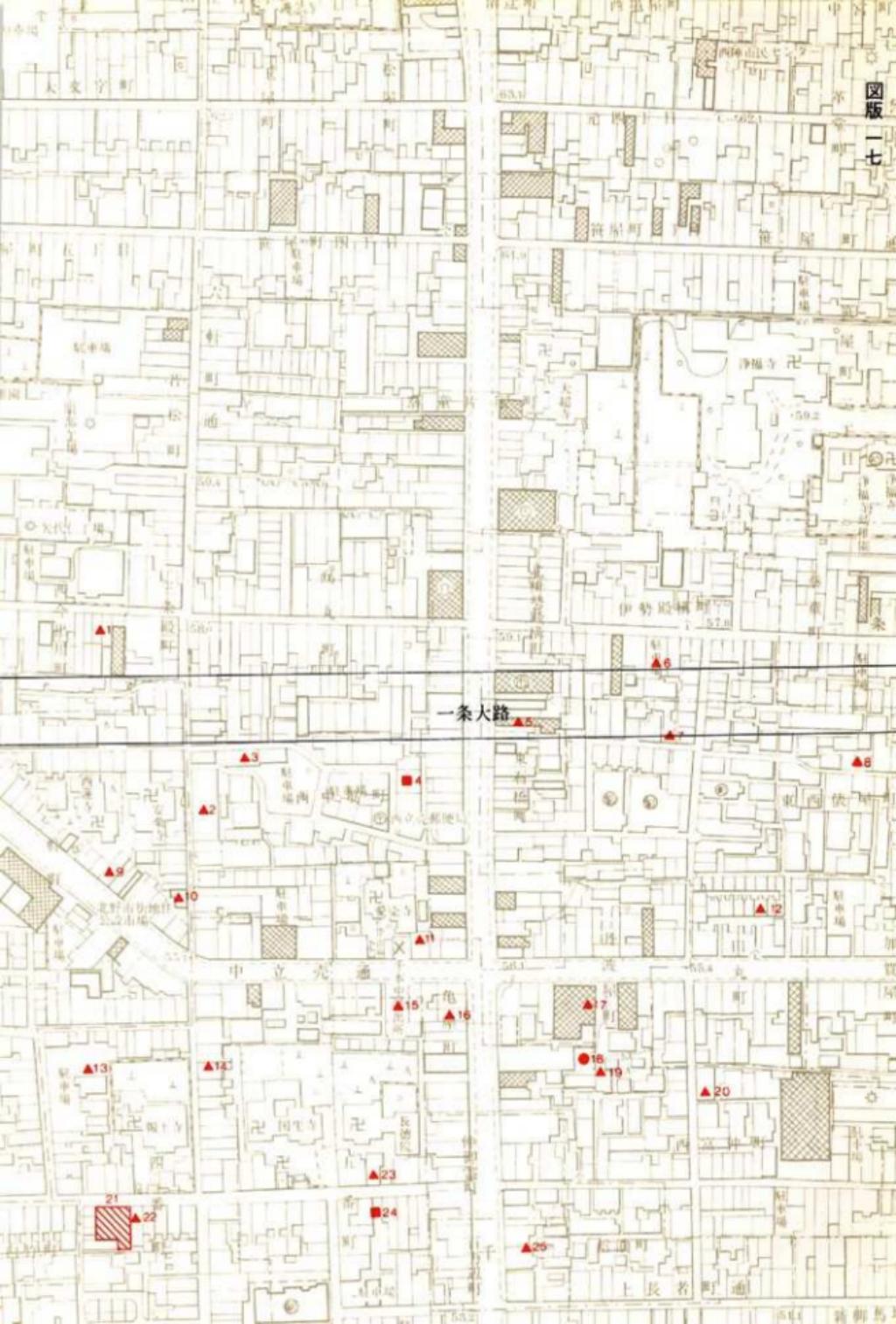


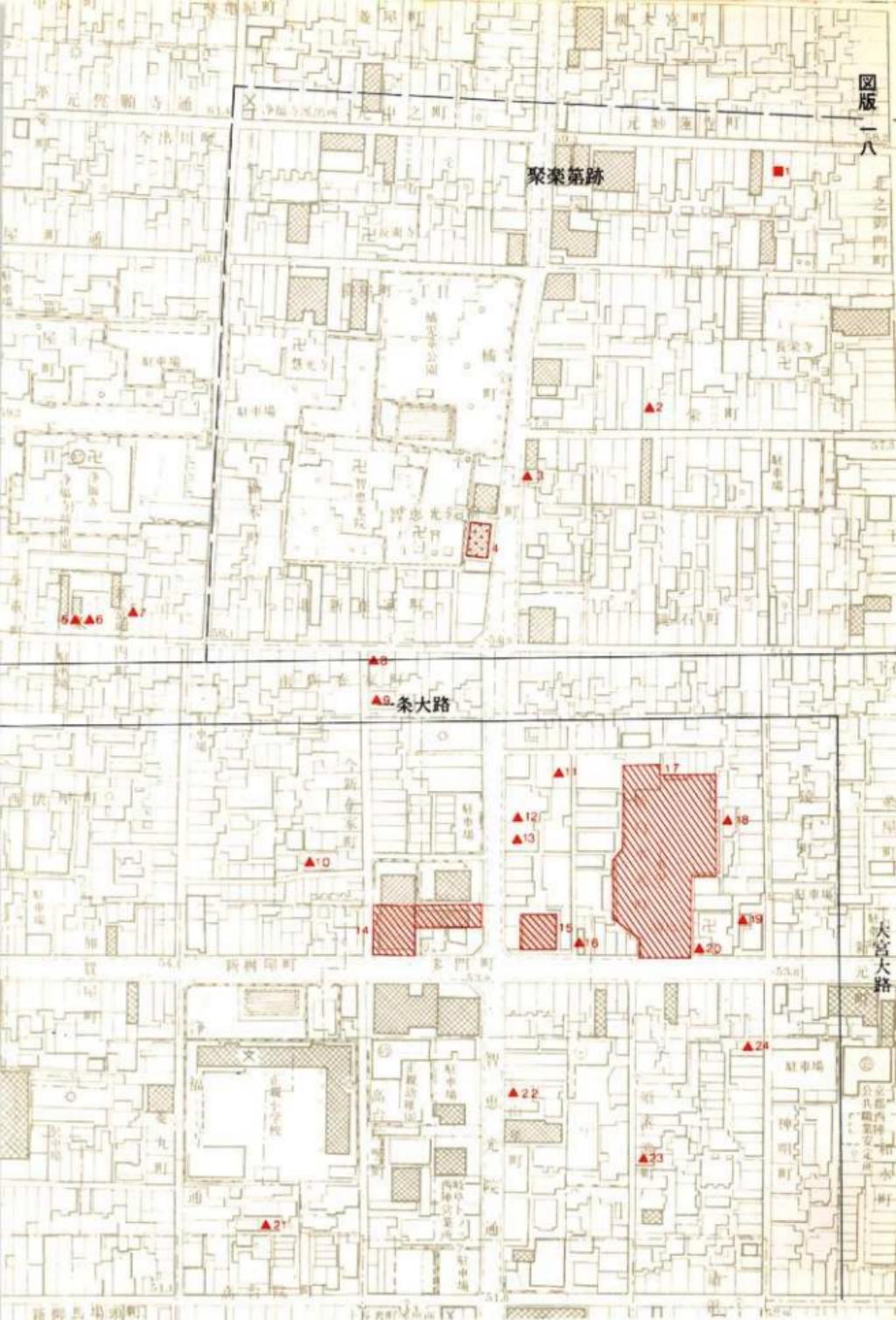
平安京図書分割図

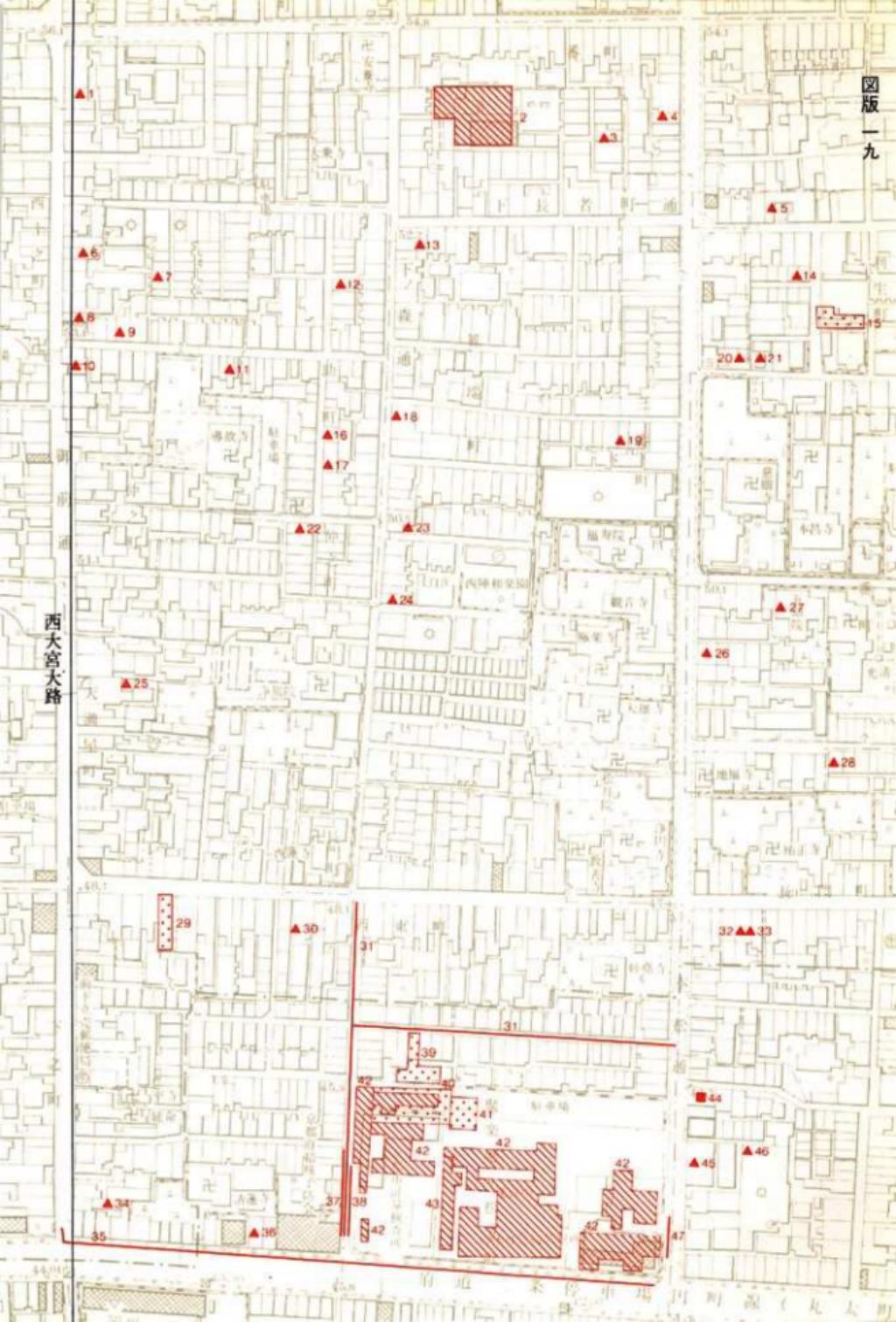
圖版
一五

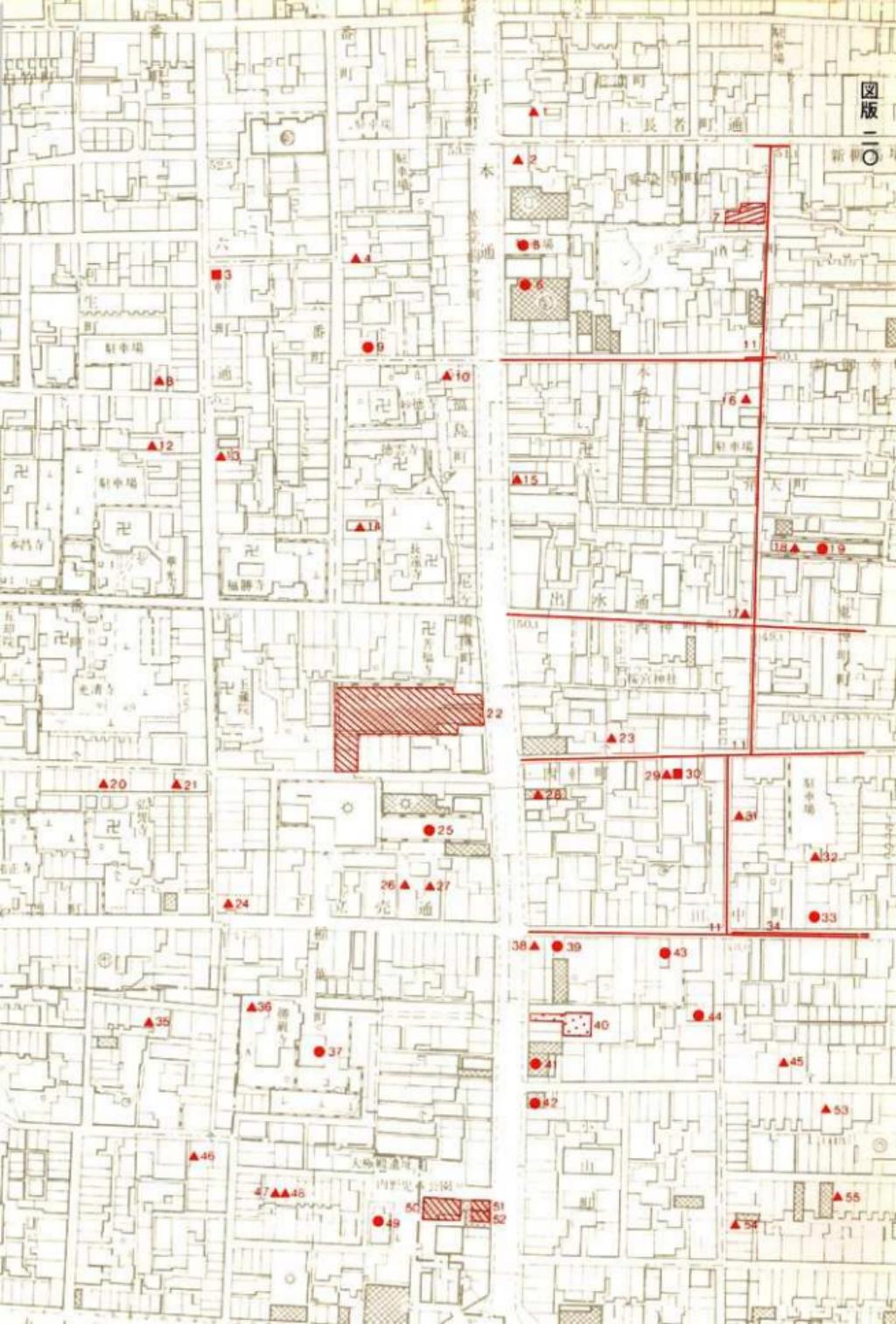
右京			左京				
四坊	三坊	二坊	一坊	一坊	二坊	三坊	四坊
北辺 一条	圖版 四四	圖版 四五	圖版 四六	平安宮		圖版 二五	圖版 二七
二条	圖版 四七	圖版 四八	圖版 四九	圖版 五〇	圖版 二八	圖版 二九	圖版 三〇
三条	圖版 五一	圖版 五二	圖版 五三	圖版 五四	圖版 三二	圖版 三三	圖版 三四
四条 五条	圖版 五五	圖版 五六	圖版 五七	圖版 五八	圖版 三六	圖版 三七	圖版 三八
六条 七条	圖版 五九	圖版 六〇	圖版 六一	圖版 六二	圖版 四〇	圖版 四一	圖版 四二
八条 九条	西京極大路		木辻大路	道祖大路	西大宮大路	朱雀大路	大宮大路
	西洞院大路		東洞院大路	西洞院大路		東京極大路	
	一条大路		土御門大路	中御門大路		二条大路	
	三条大路		四条大路	五条大路		六条大路	
	七条大路		八条大路	九条大路		東京極大路	

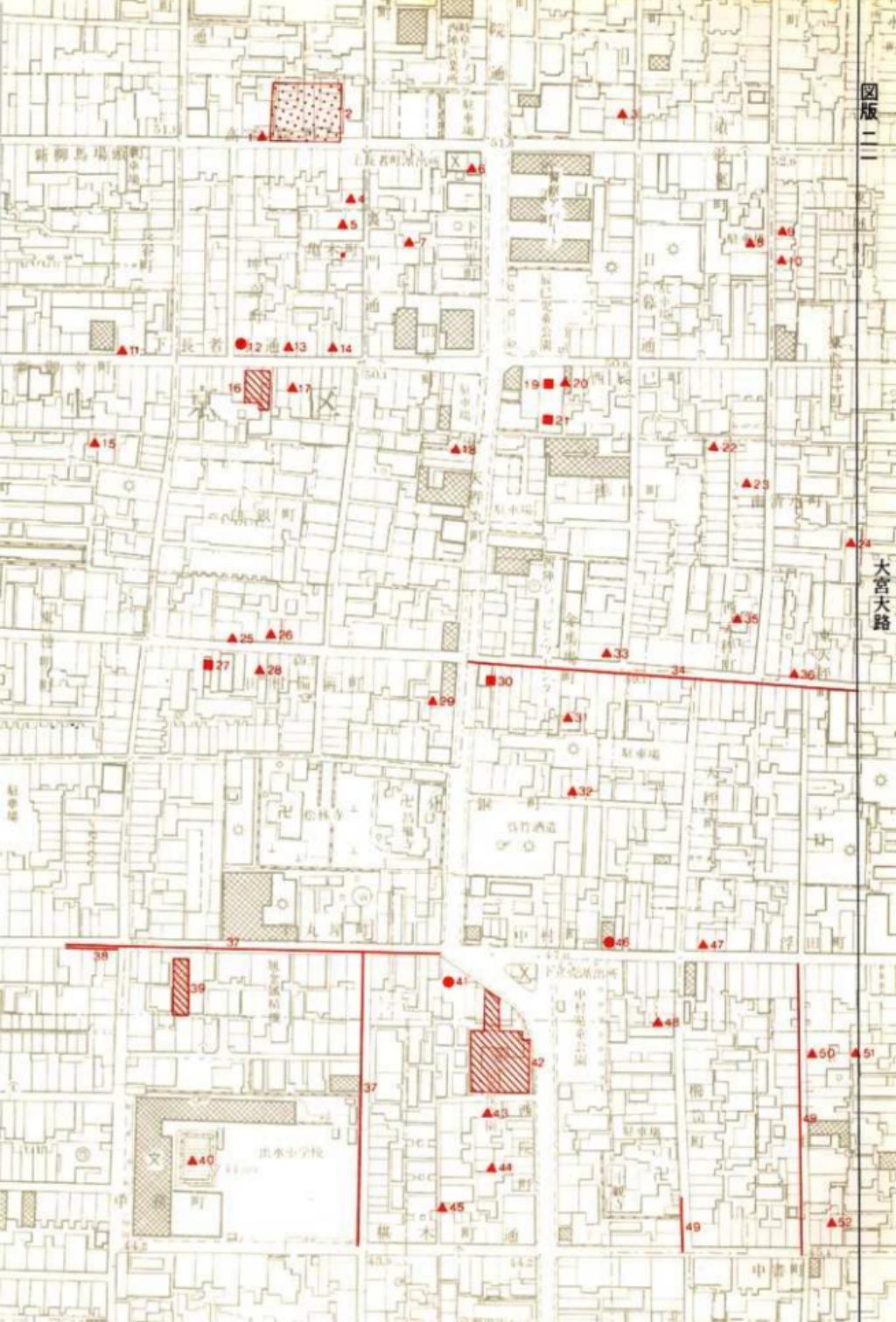




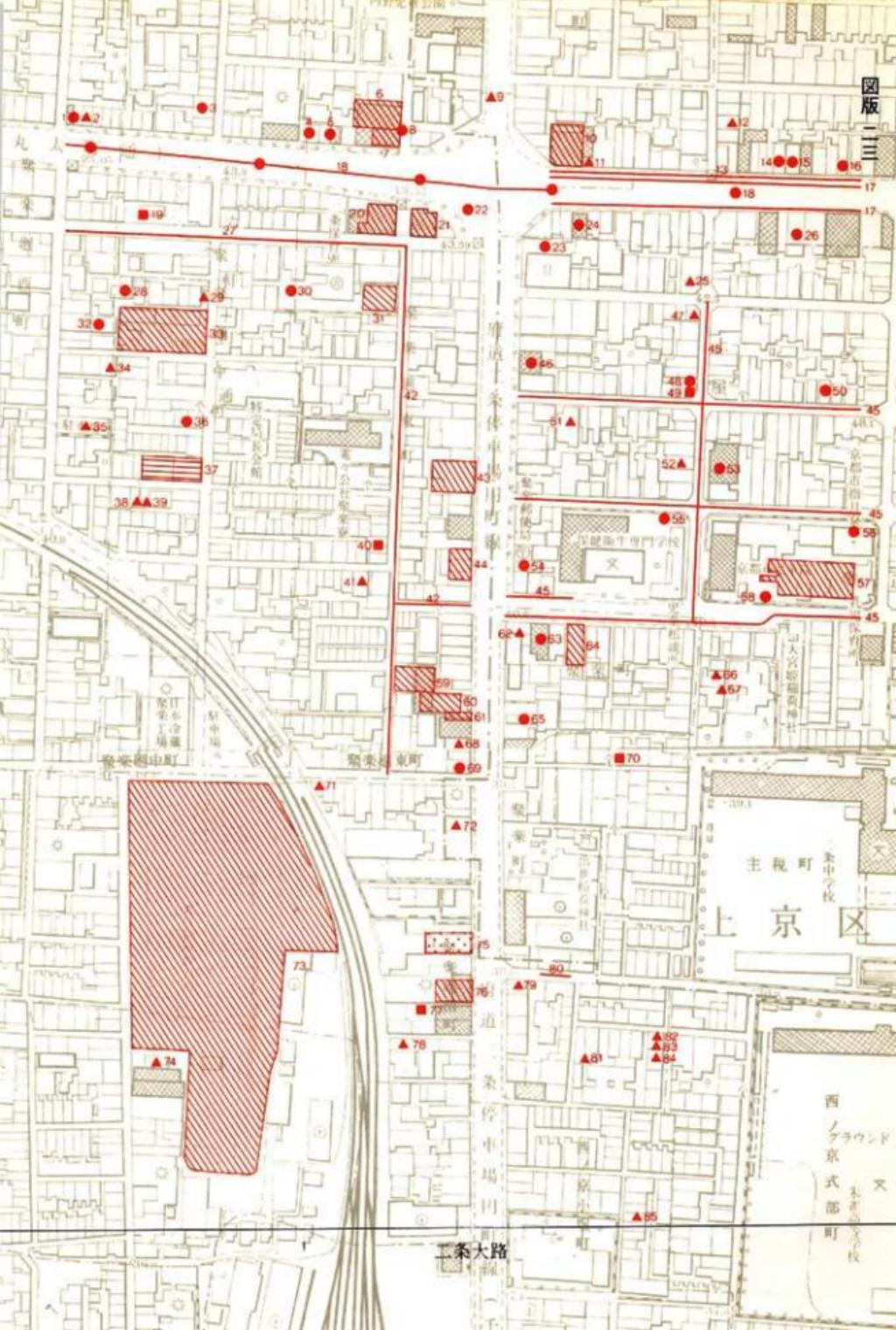


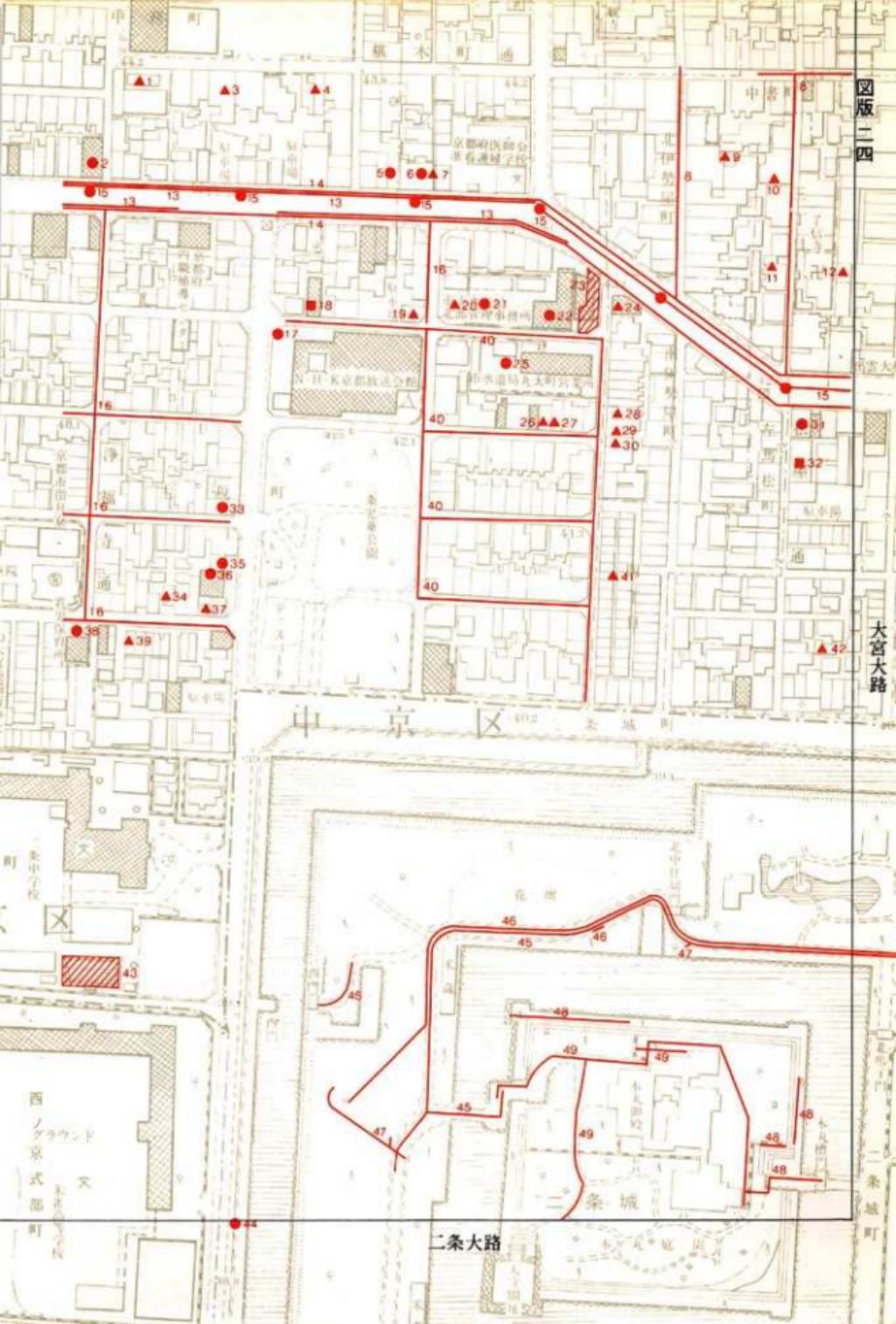




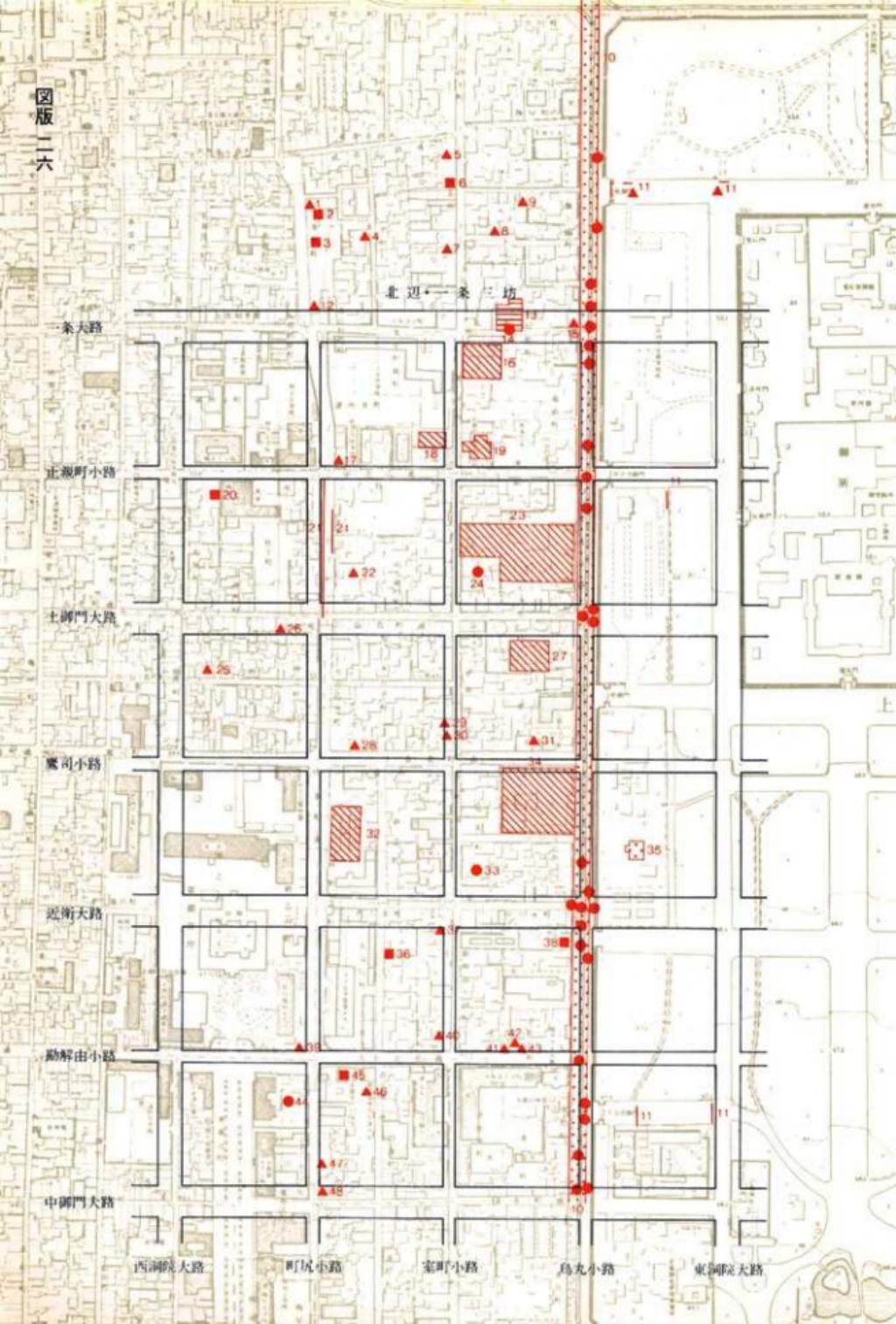


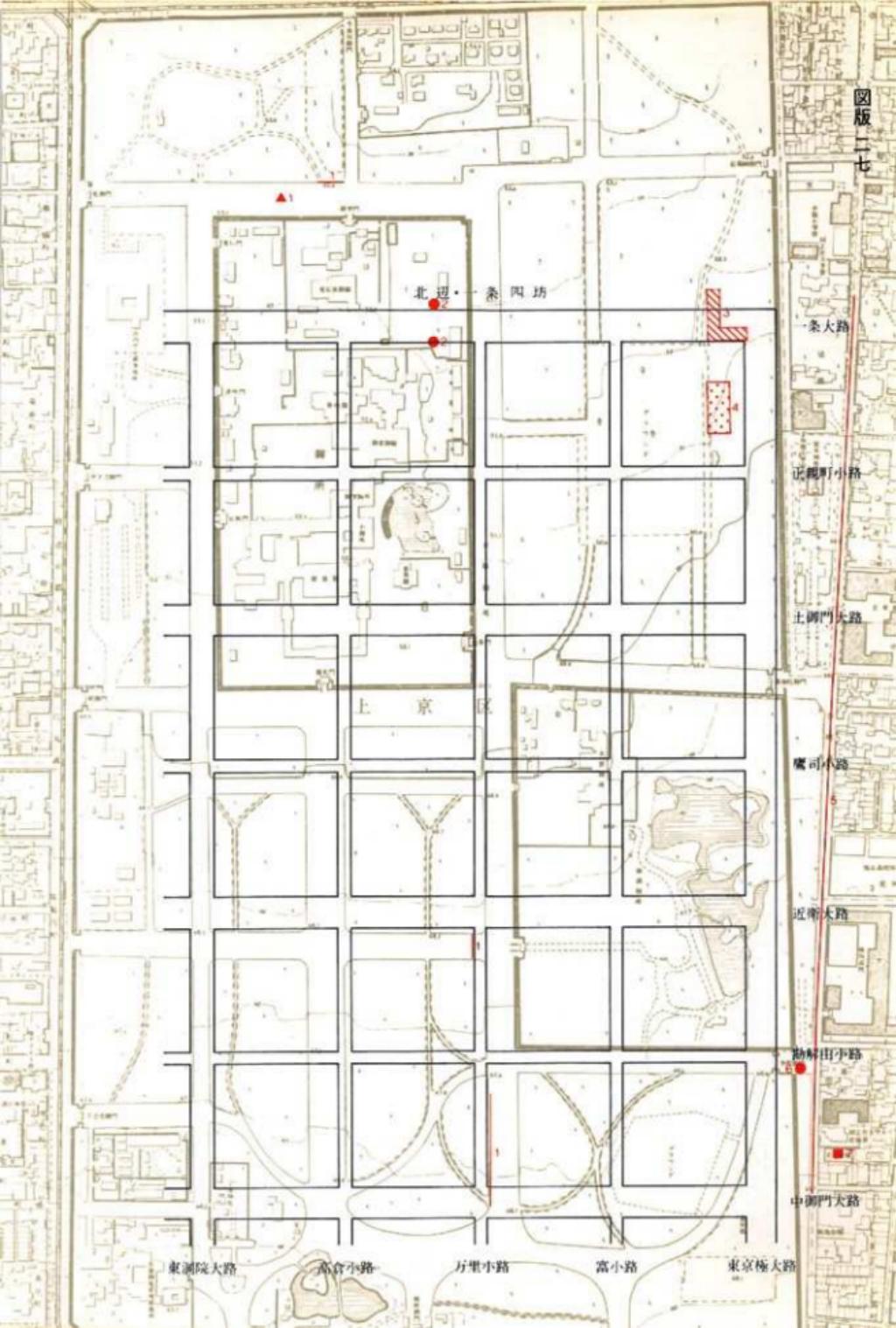




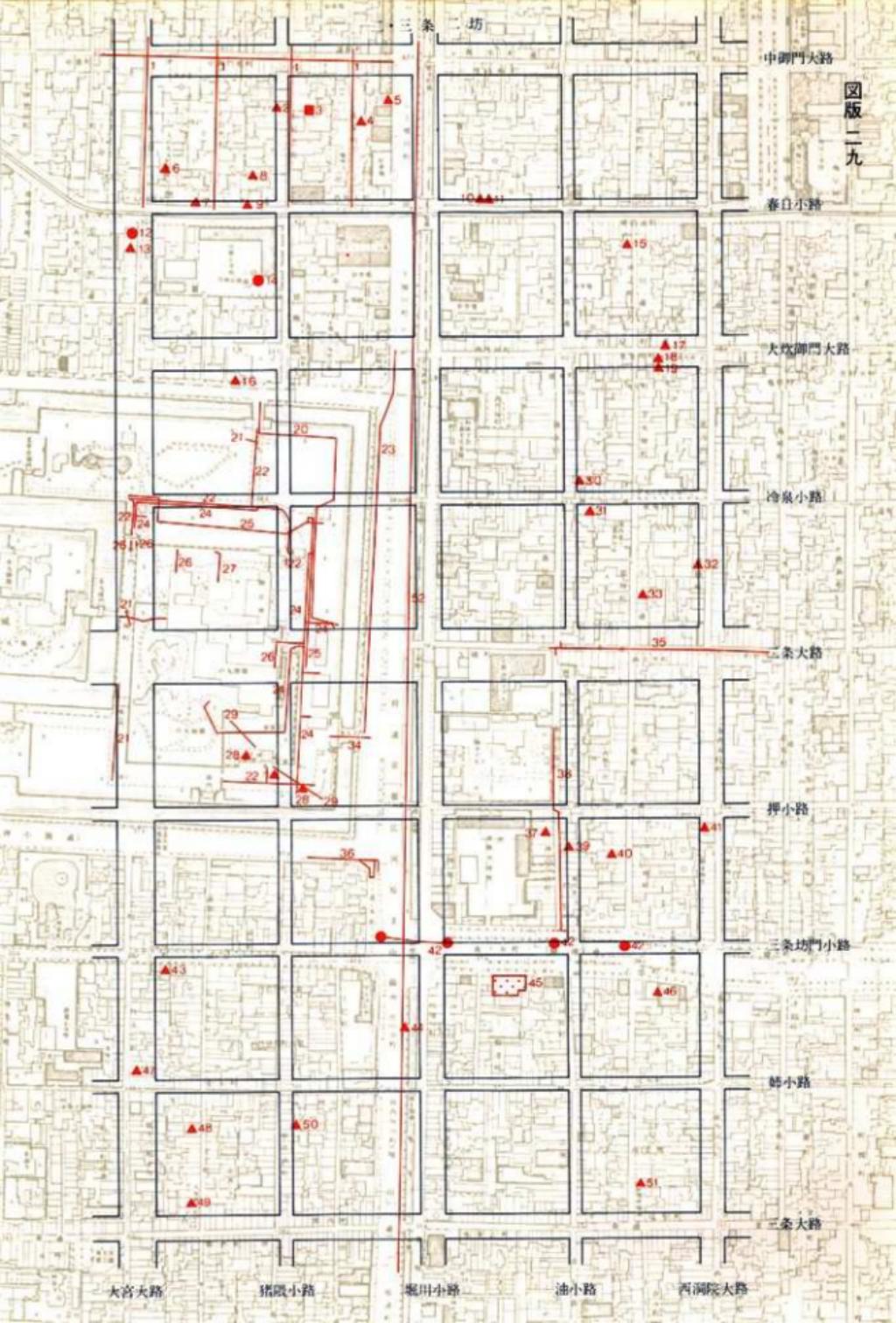












中御門大路

圖版三〇

春日小路

大坂御門大路

金泉小路

二条大路

押小路

三条坊門小路

城小路

三条大路

西側端大路

門松小路

室町小路

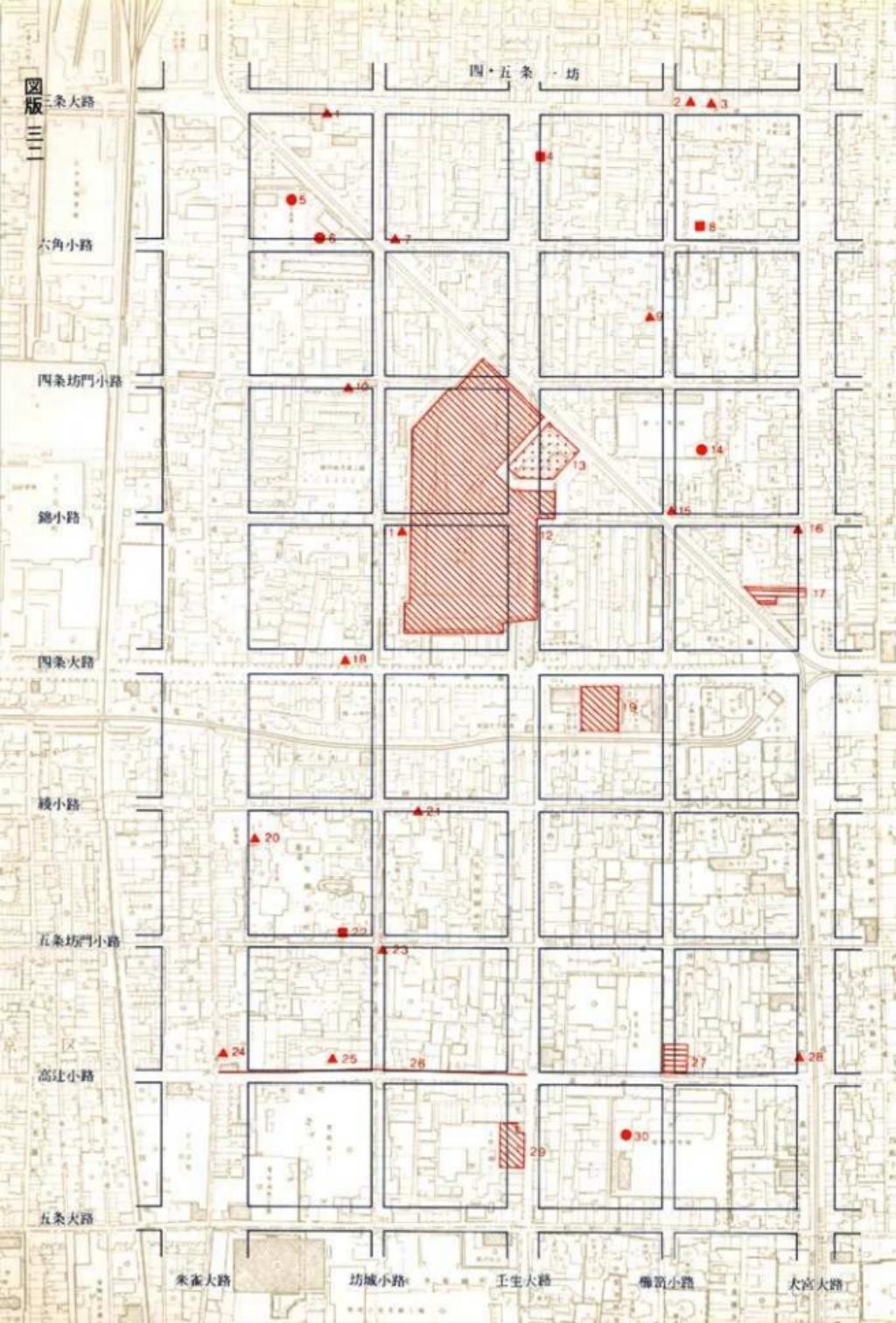
為九小路

東洞院大路

二・三 条 坊







圖版三

三条大路

四・五条・坊

2▲3

六角小路

四条坊門小路

錦小路

四条火路

綾小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

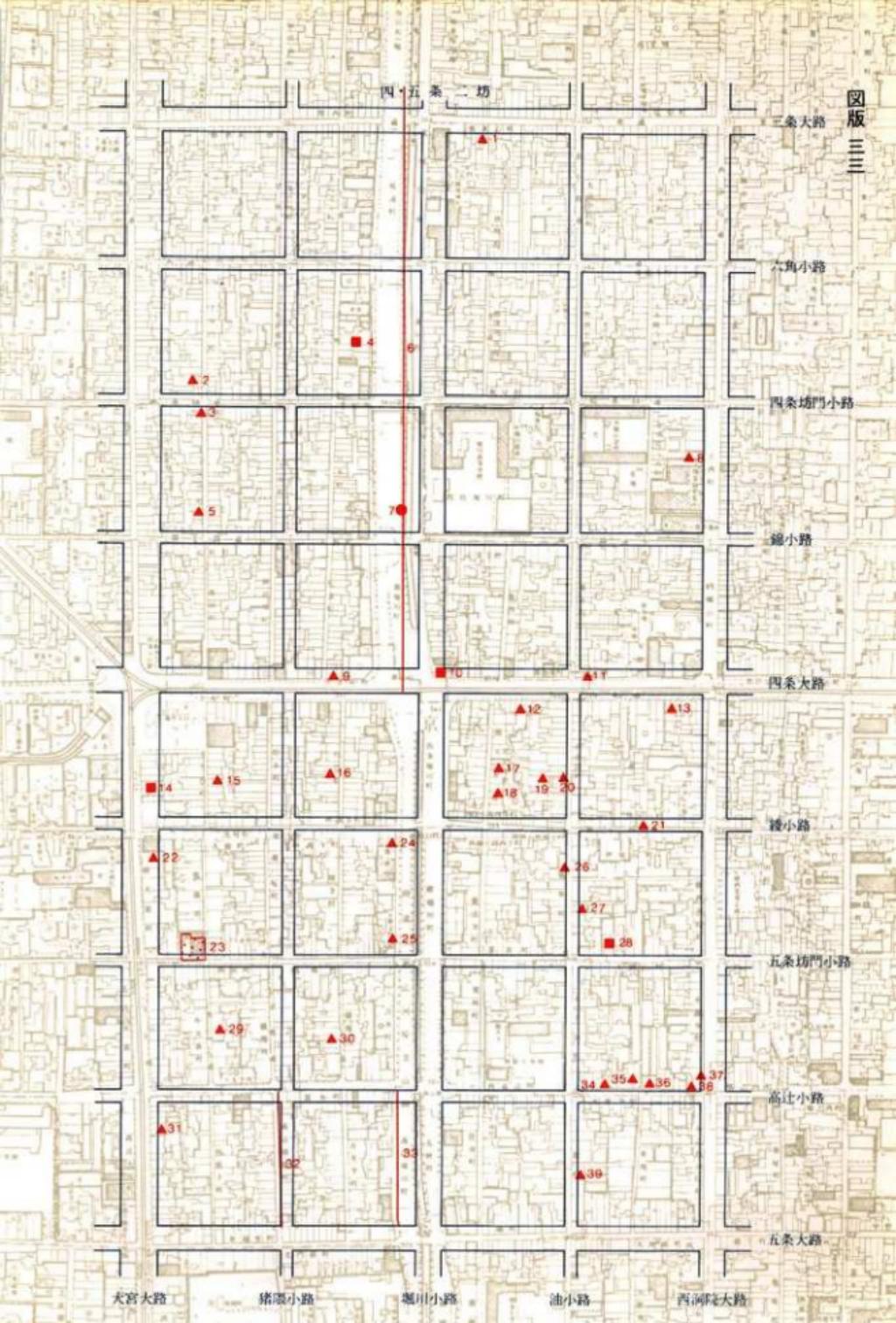
米菴大路

坊城小路

壬生大路

柳若小路

大宮大路



天宮大路

猪隈小路

瀬川小路

油小路

西洞院大路

大路

三
四

六角小塔

四條坊門小路

小瓶

四條大路

卷之三

五条均門小路

高社小路

五条大路

四、五
六

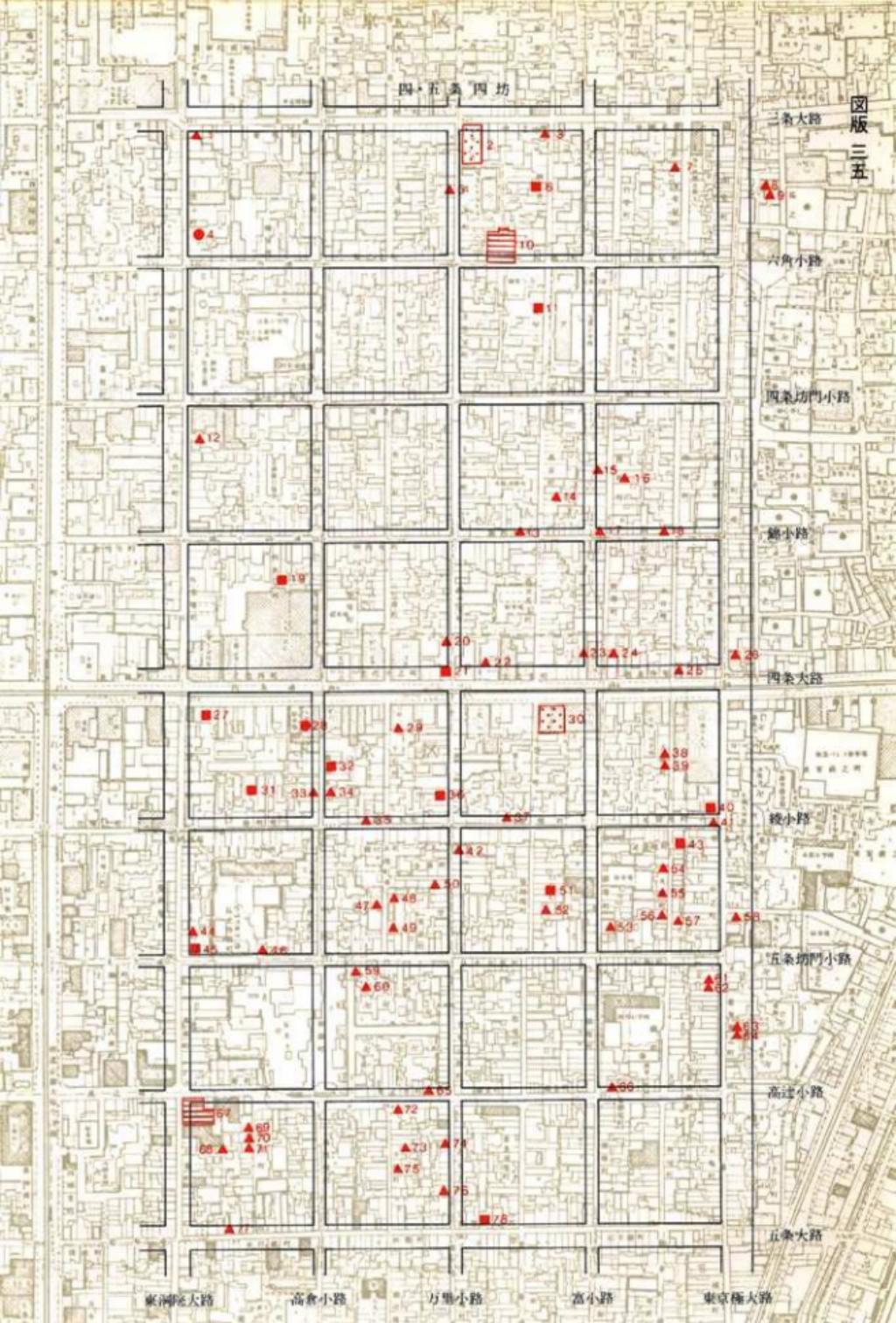
四庫全書

三國水滸

家門小照

卷之三

新編卷之六



桶口小路

六条坊門小路

楊梅小路

六条大路

左牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

六・七条一坊

7

3

4

5

6

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

六・七条二坊

五条大路

▲1 ▲2

▲3

6

▲5

8

桶口小路

7

10

12

▲13

14

15

16

六条坊門小路

16

19

20

21

22

楊梅小路

■23

27

六条大路

26

32

左牛牛小路

20

30

31

33

34

七条坊門小路

▲29

31

35

36

北小路

30

31

31

37

38

七条大路

●43

43

43

43

40

41

大

名大路

猪限小路

瓢田小路

油小路

西洞院大路

圖版

三八

橋口小路

六条坊門小路

楊梅小路

六条大路

左牛子小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

六、七、三、坊

西湖院大路

町尻小路

室町小路

堀九小路

東洞院大路



六・七・八・九・十坊

五条大路



東洞院大路

高倉小路

万里小路

富小路

東京極大路



八、九章二十九

七条大路

京一区

八條坊門小路

卷之三

八条大路

小路

九条坊門小記

信濃小路

九条大路

四

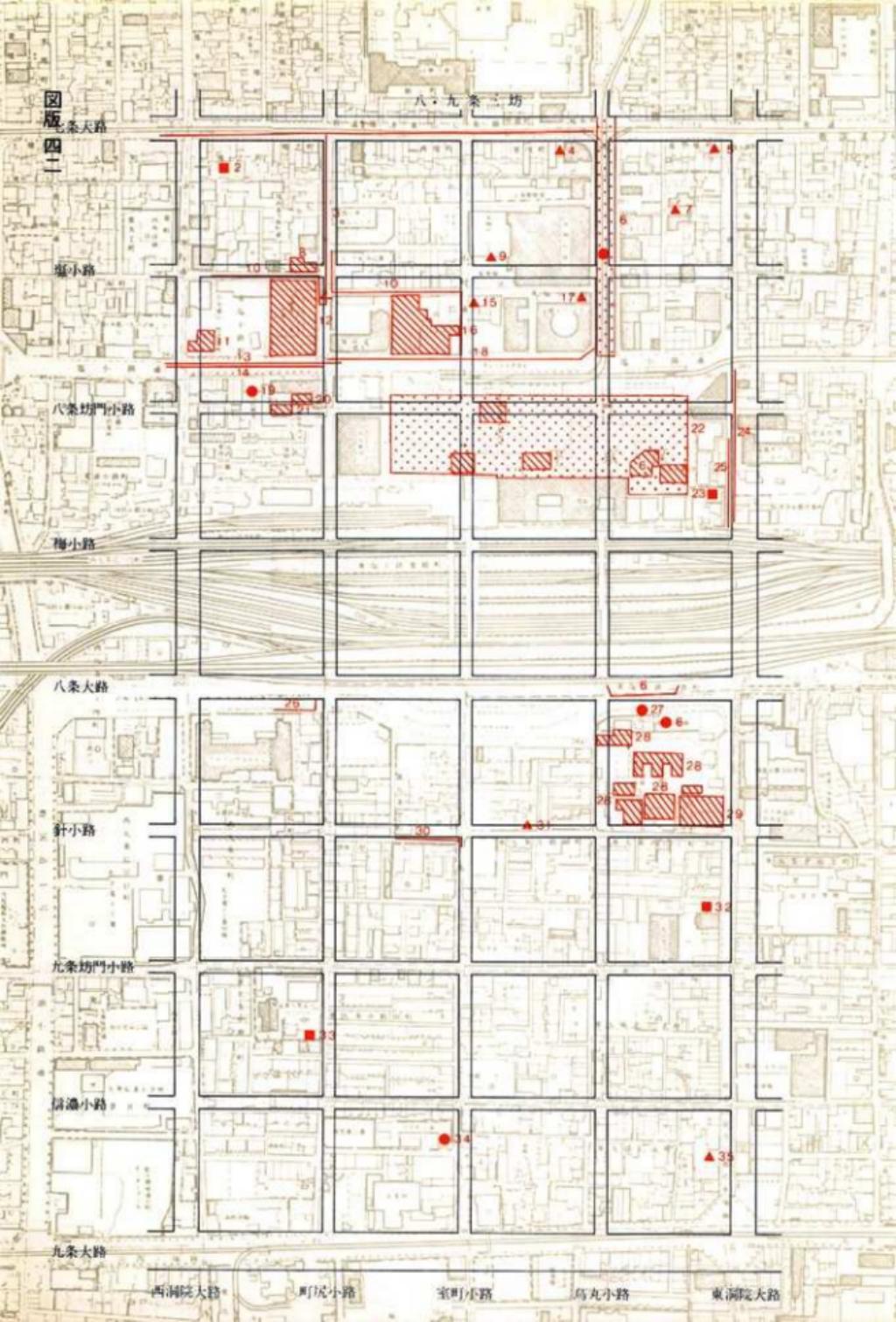
猪限小路

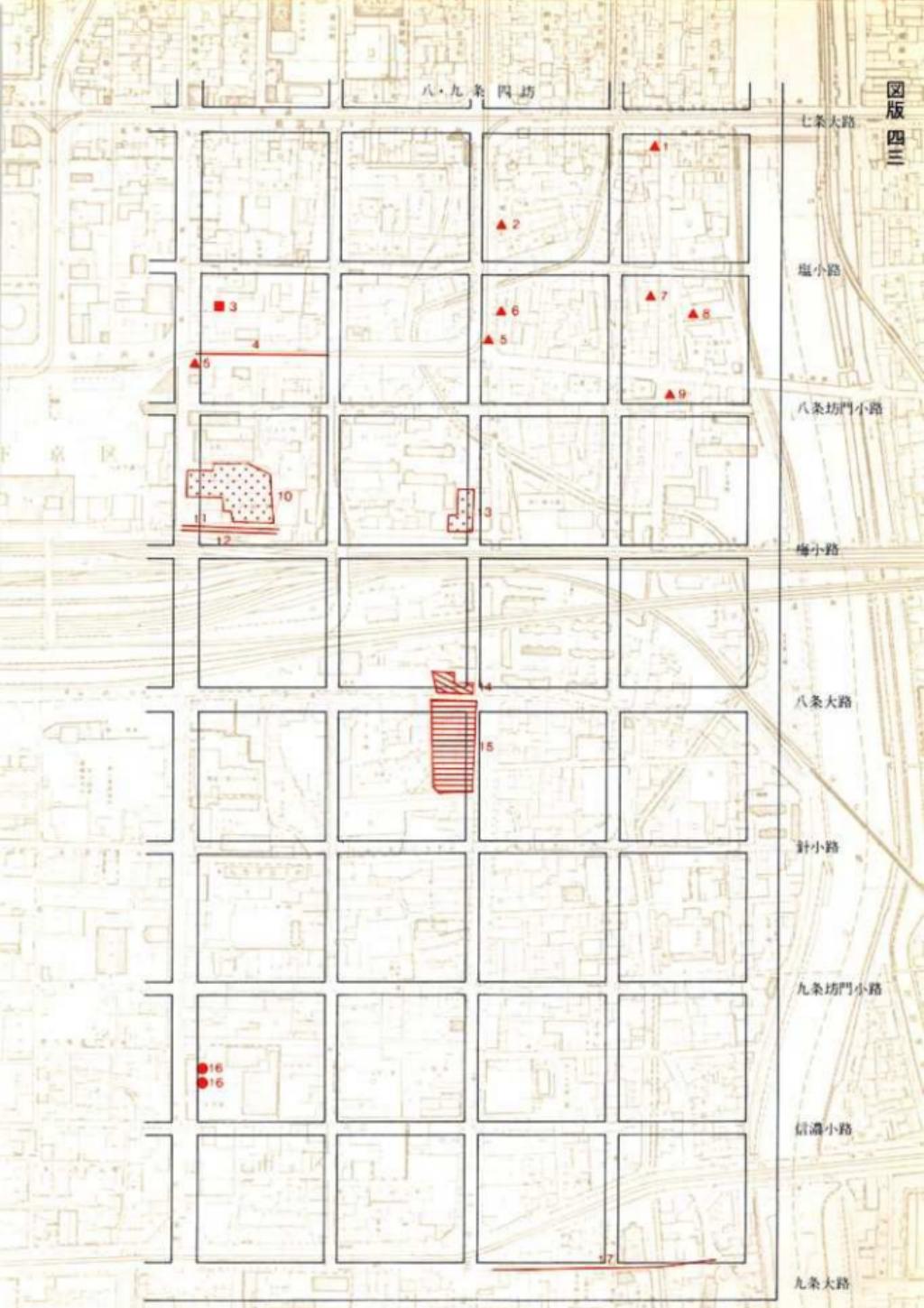
新川小路

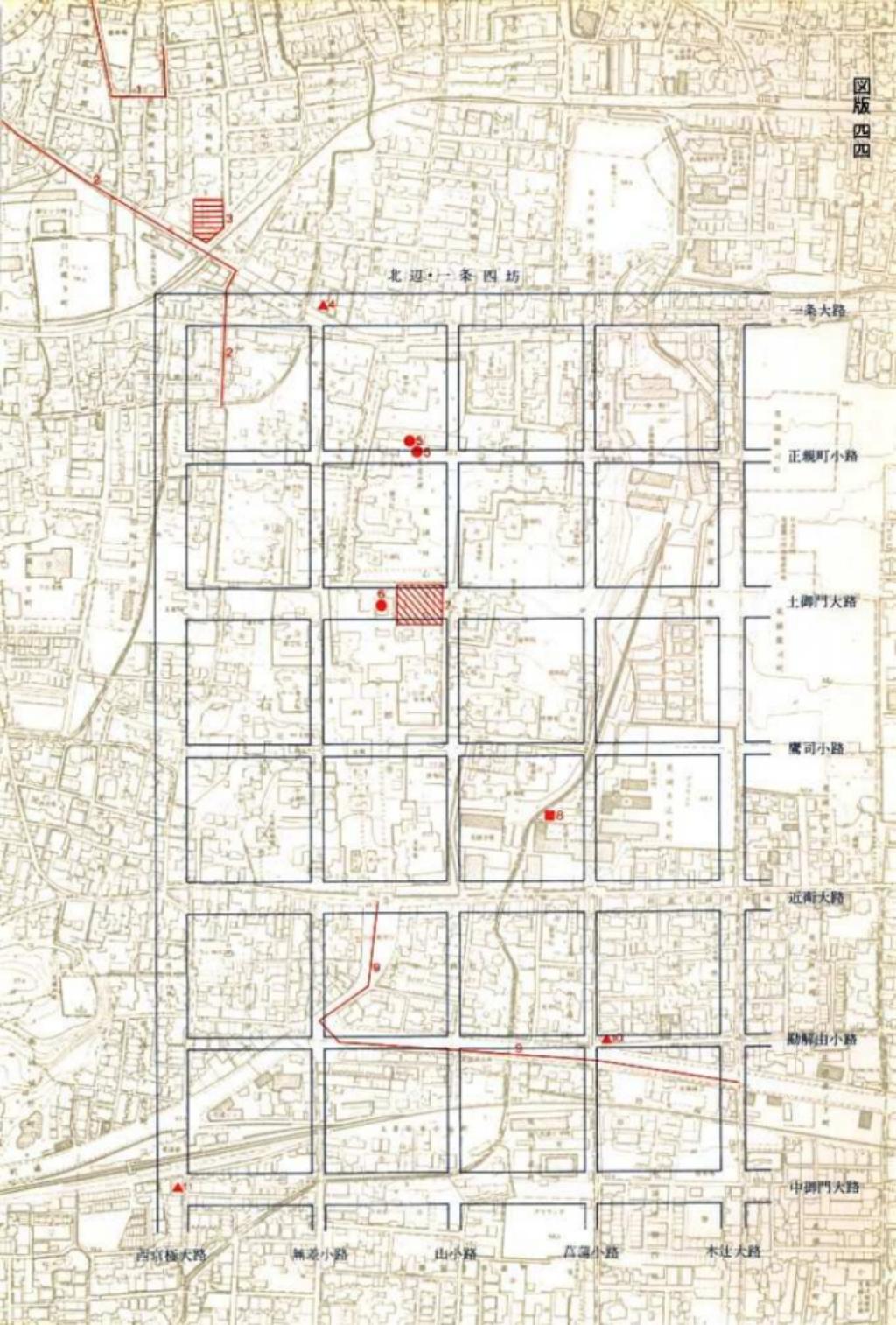
油小路

西湖走大路

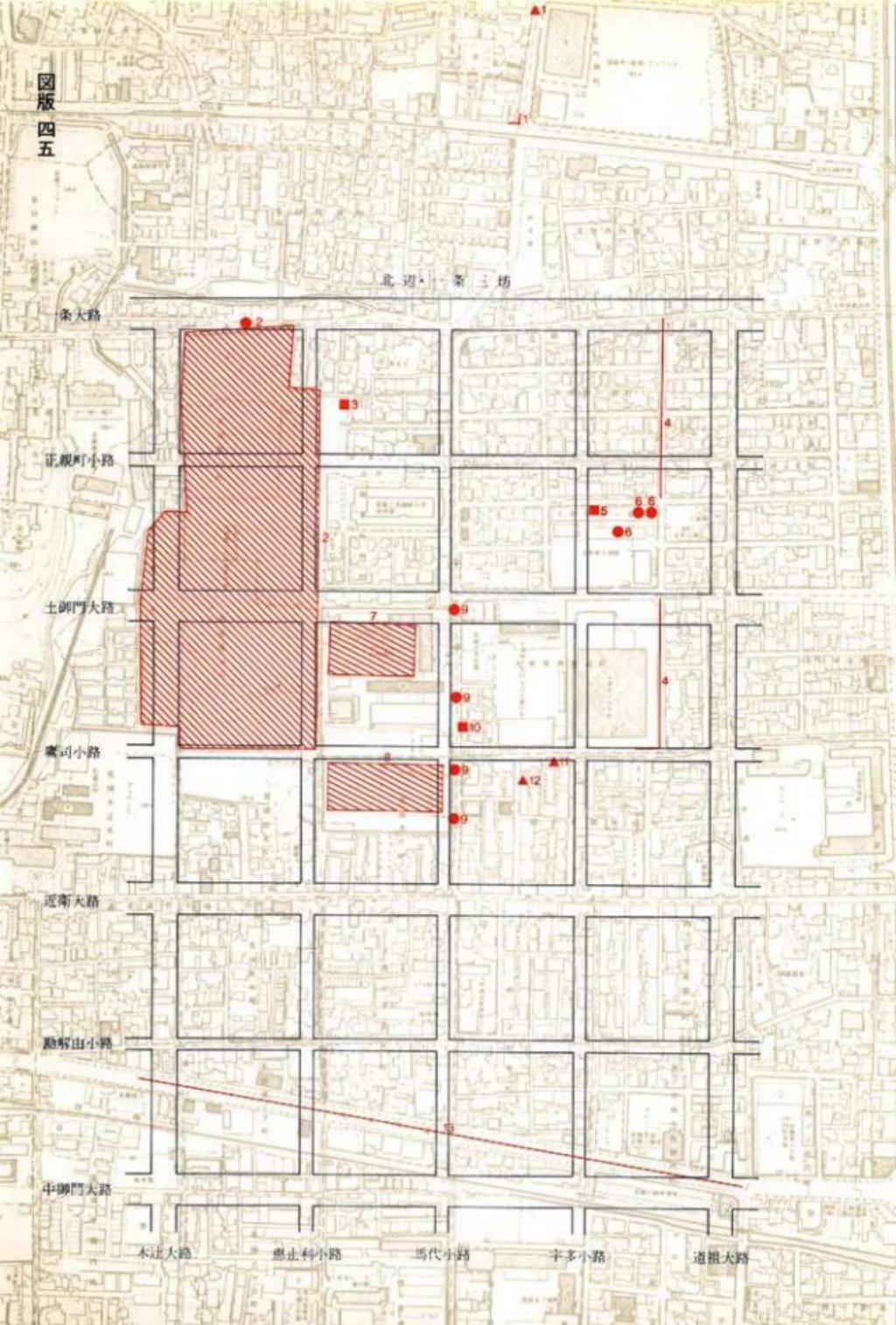
大清火路

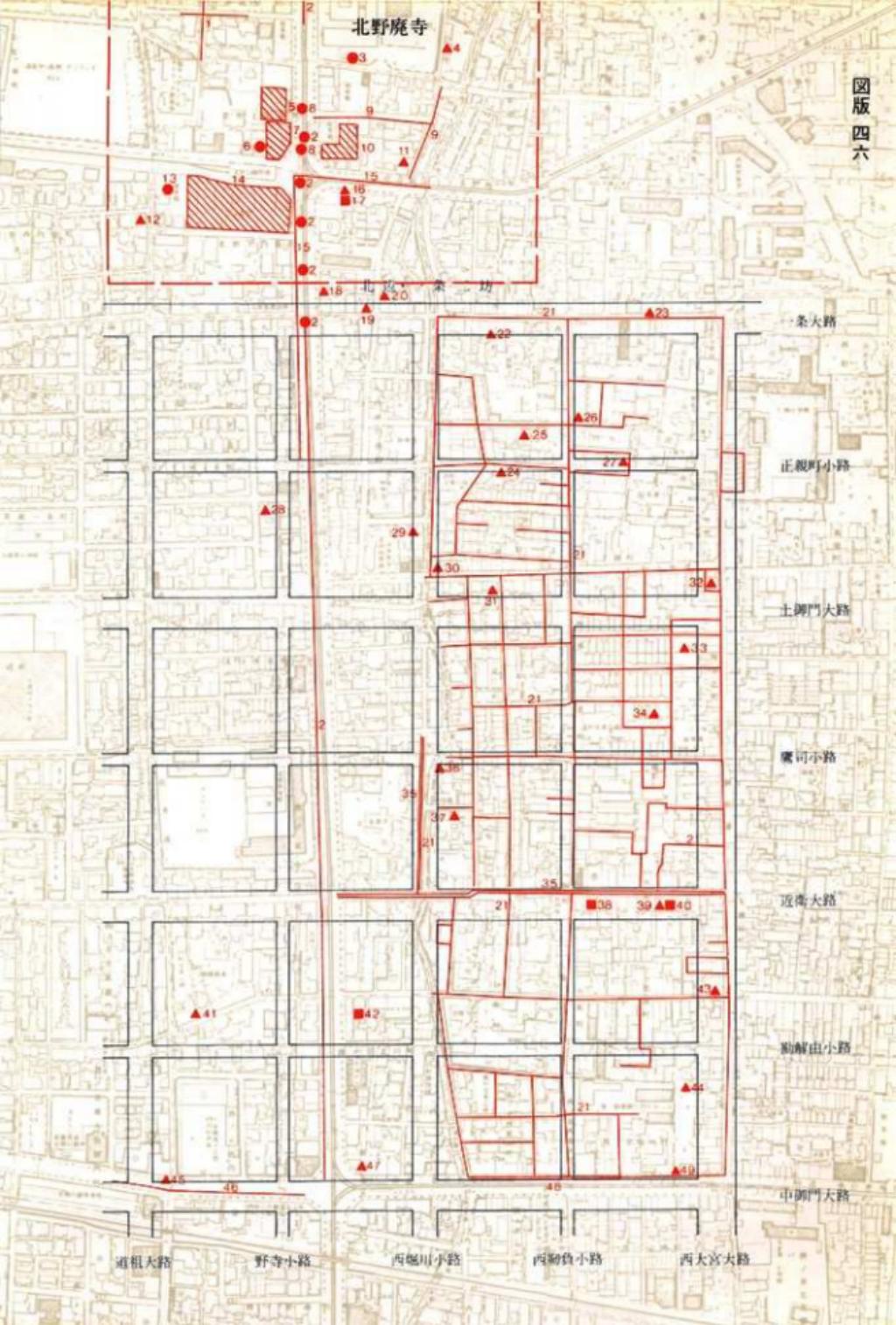




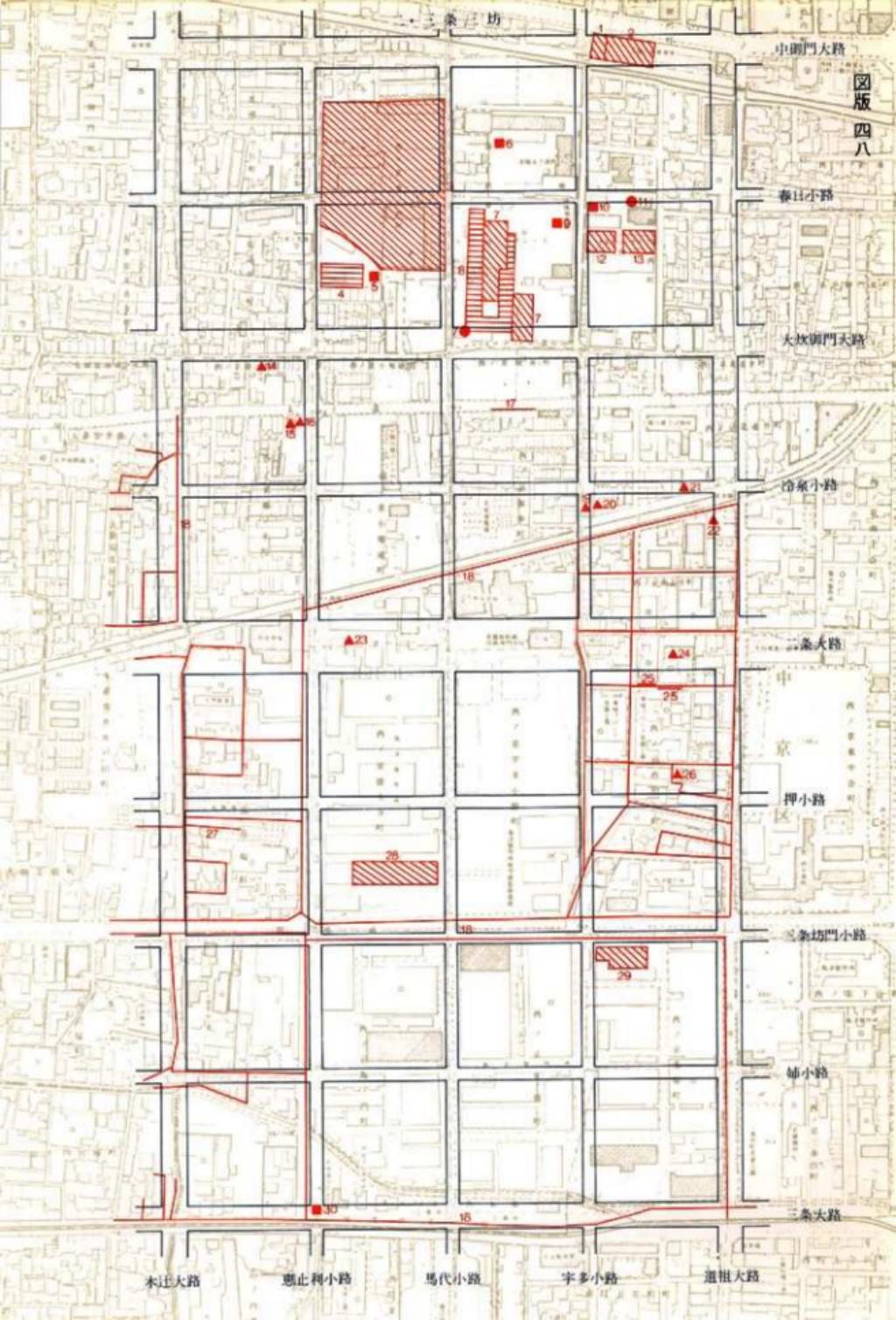


図版四五









中御門大路

圖版四九

春日小路

太政卿門大路

冷泉小路

二条大路

押小路

三条坊門小路

鶴小路

三条大路

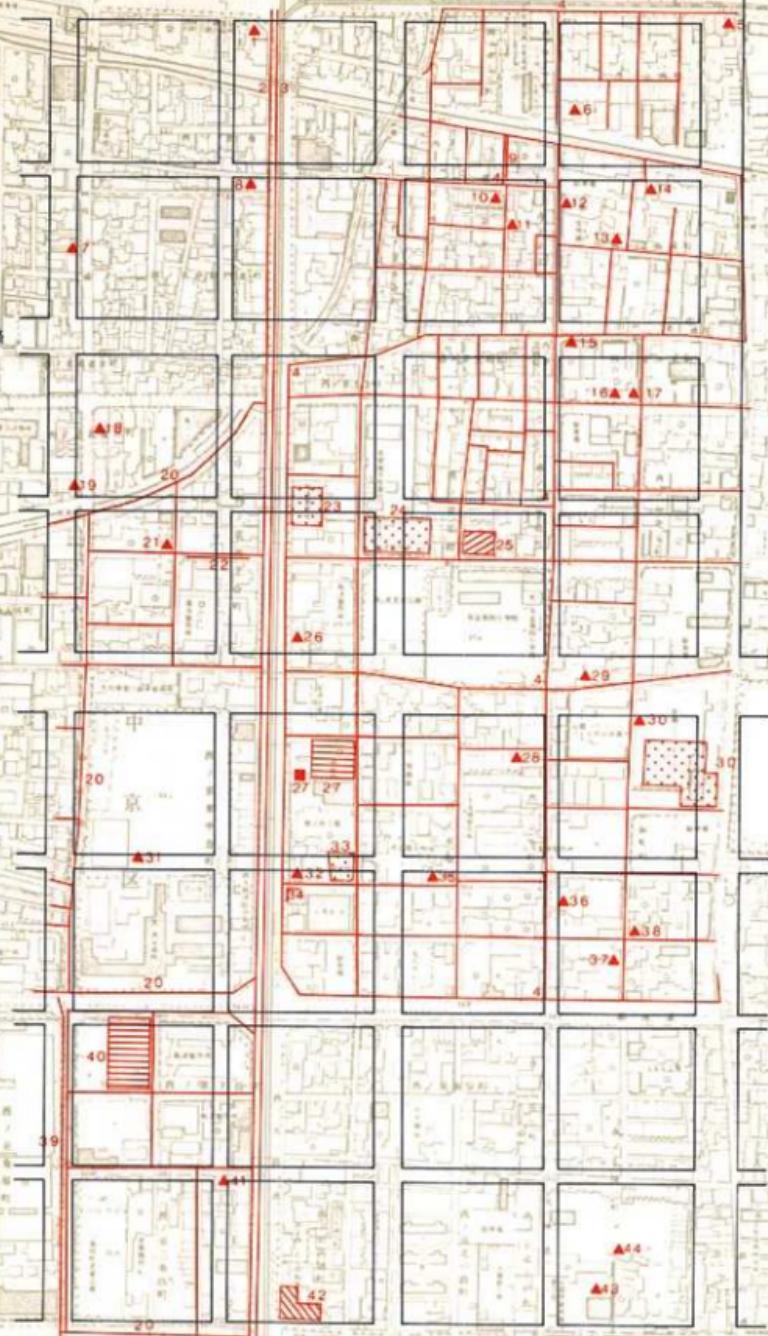
道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西柳貞小路

西大宮大路





西大路

西柳葉小路

皇藏門小路

西坊城小路

朱雀大路

四・五条・四坊

四版
三条大路

五
一

六角小路

四条坊門小路

錦小路

四条大路

錦小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

西京極大路

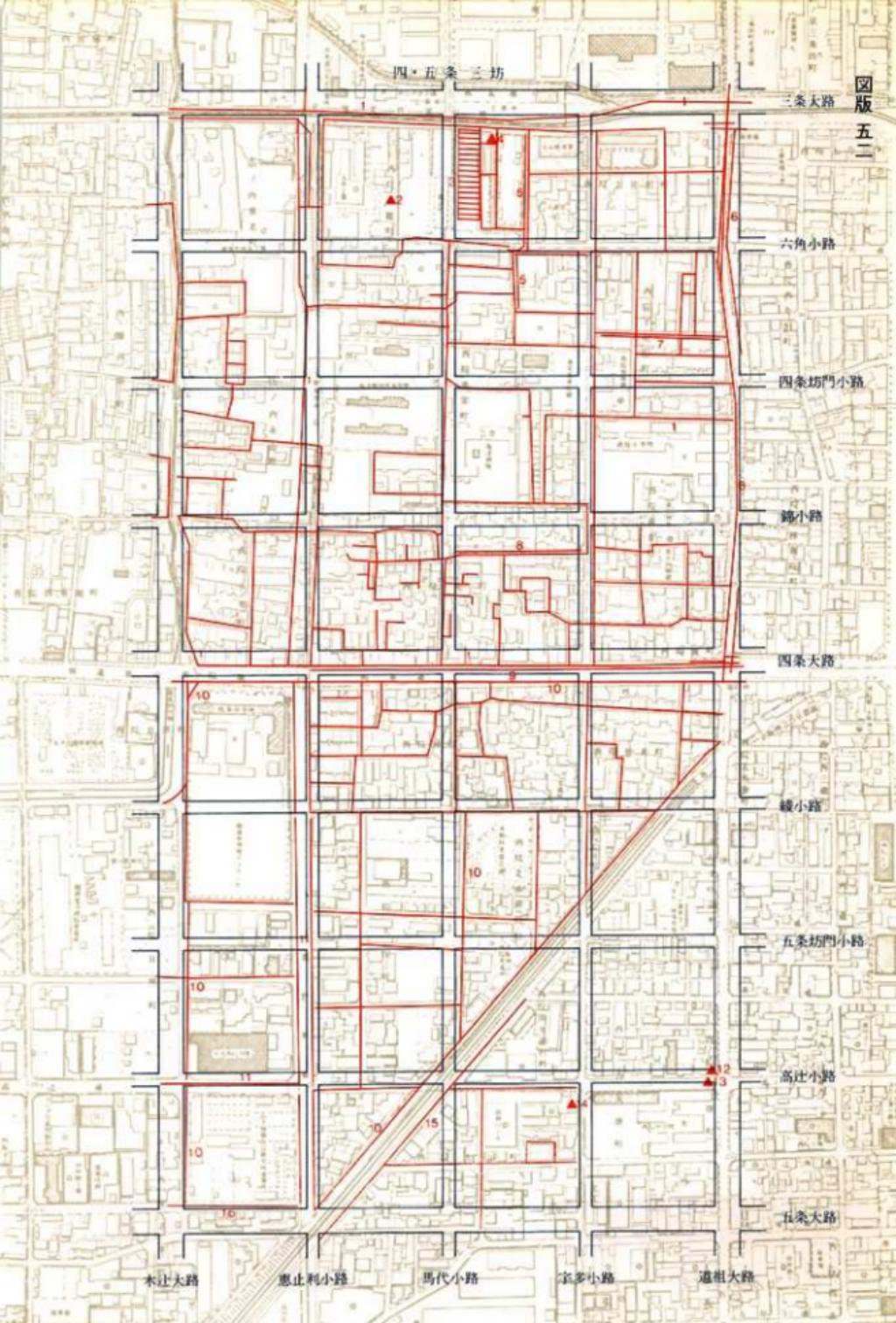
無差小路

山小路

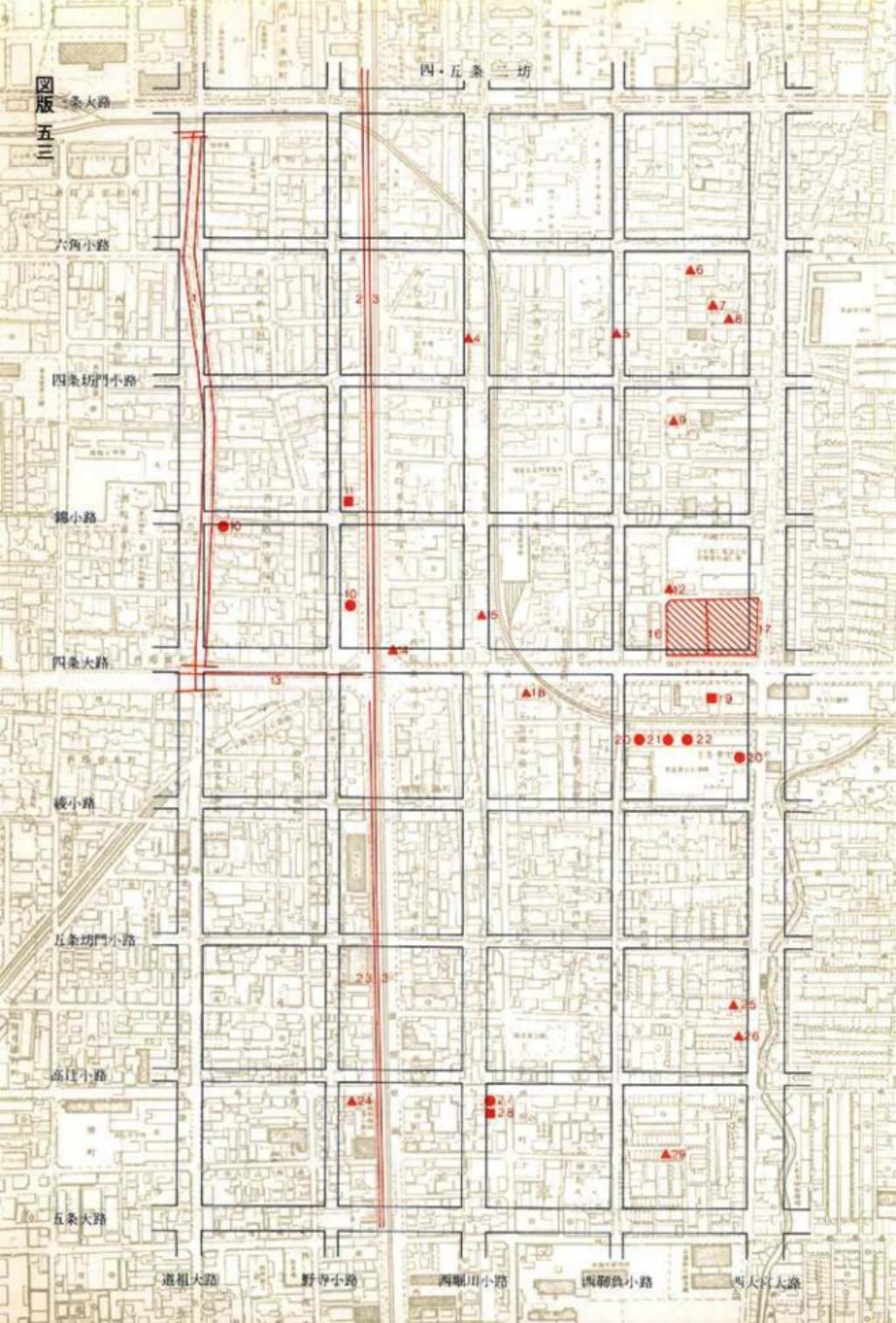
菖蒲小路

木辻大路



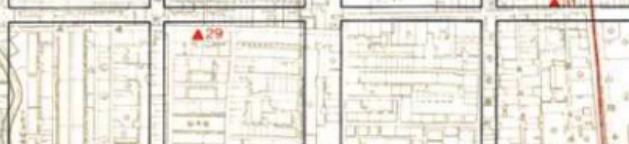
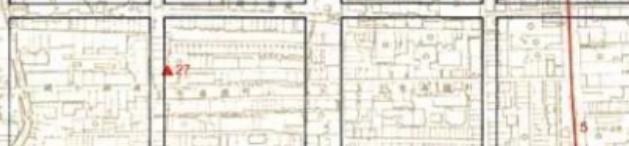
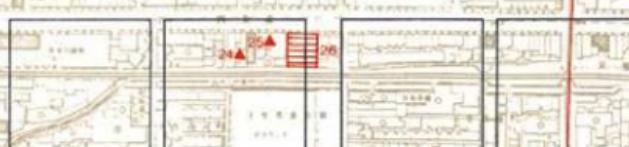
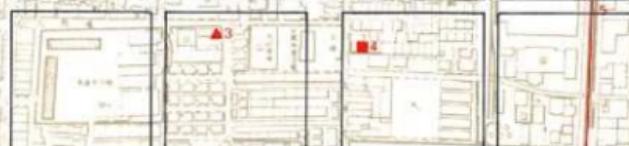


圖版五三



四・五・六・七坊

三条大路



四条坊門小路

錦小路

四条大路

錦小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

西大路大路

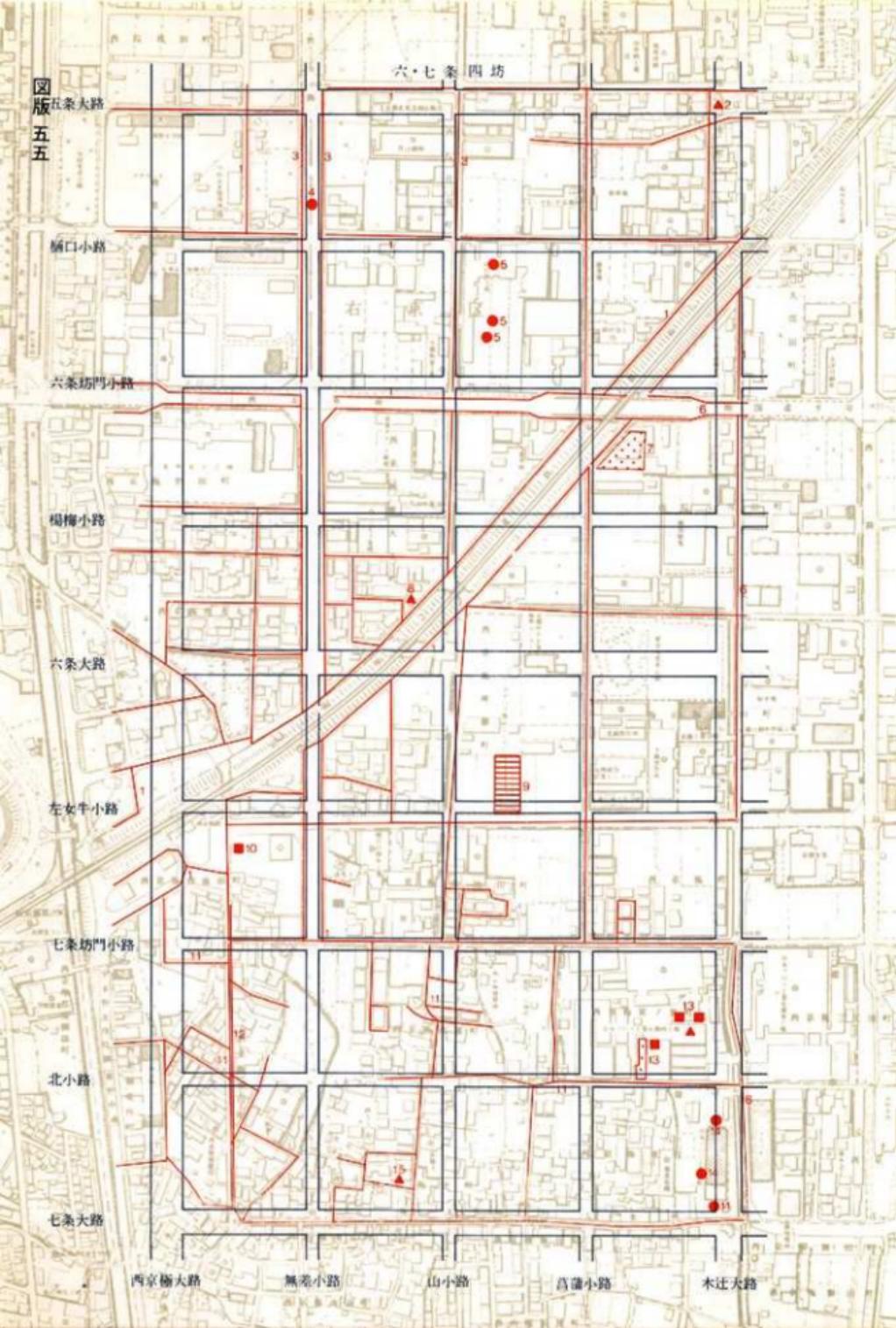
内堀筋小路

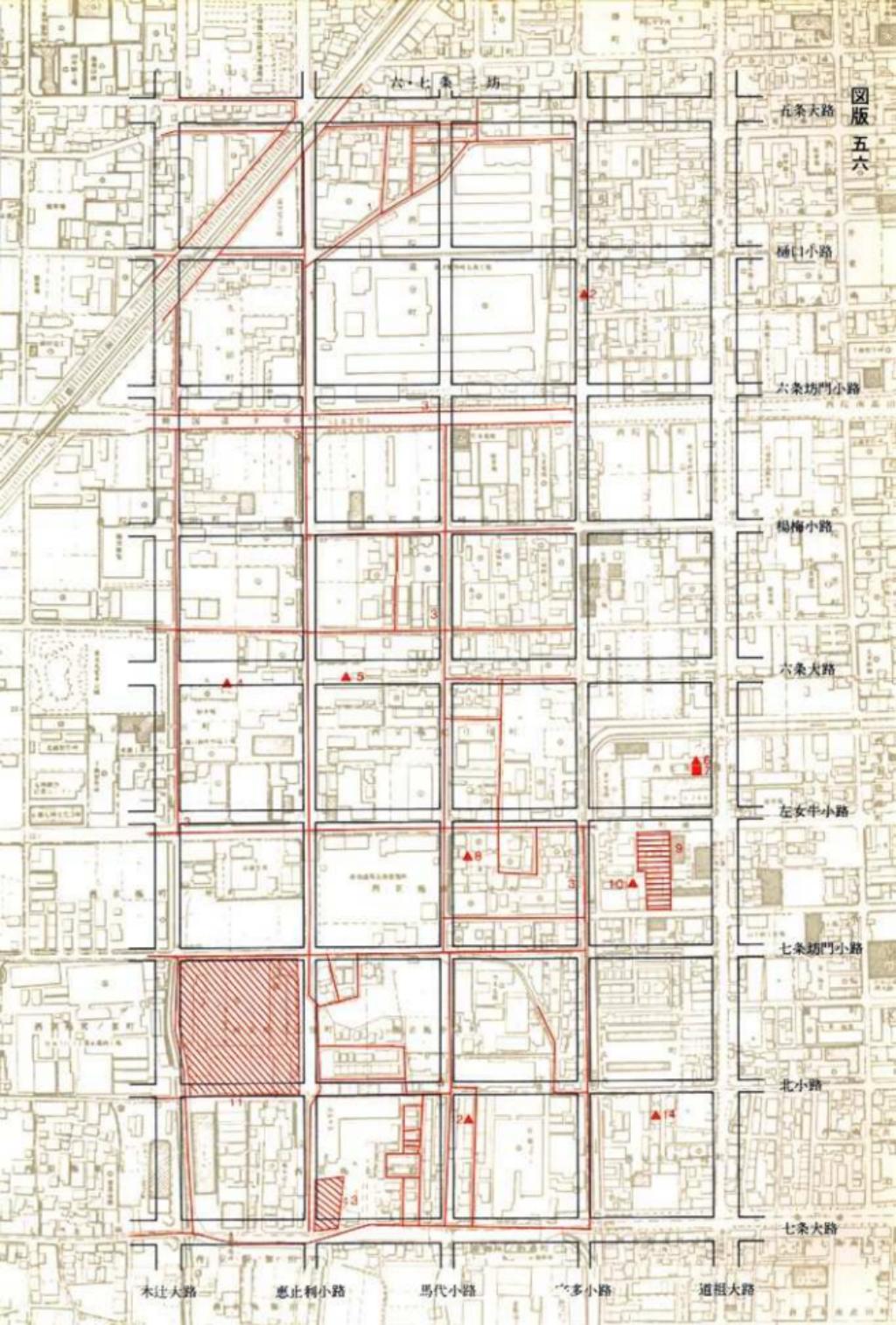
京都市大路

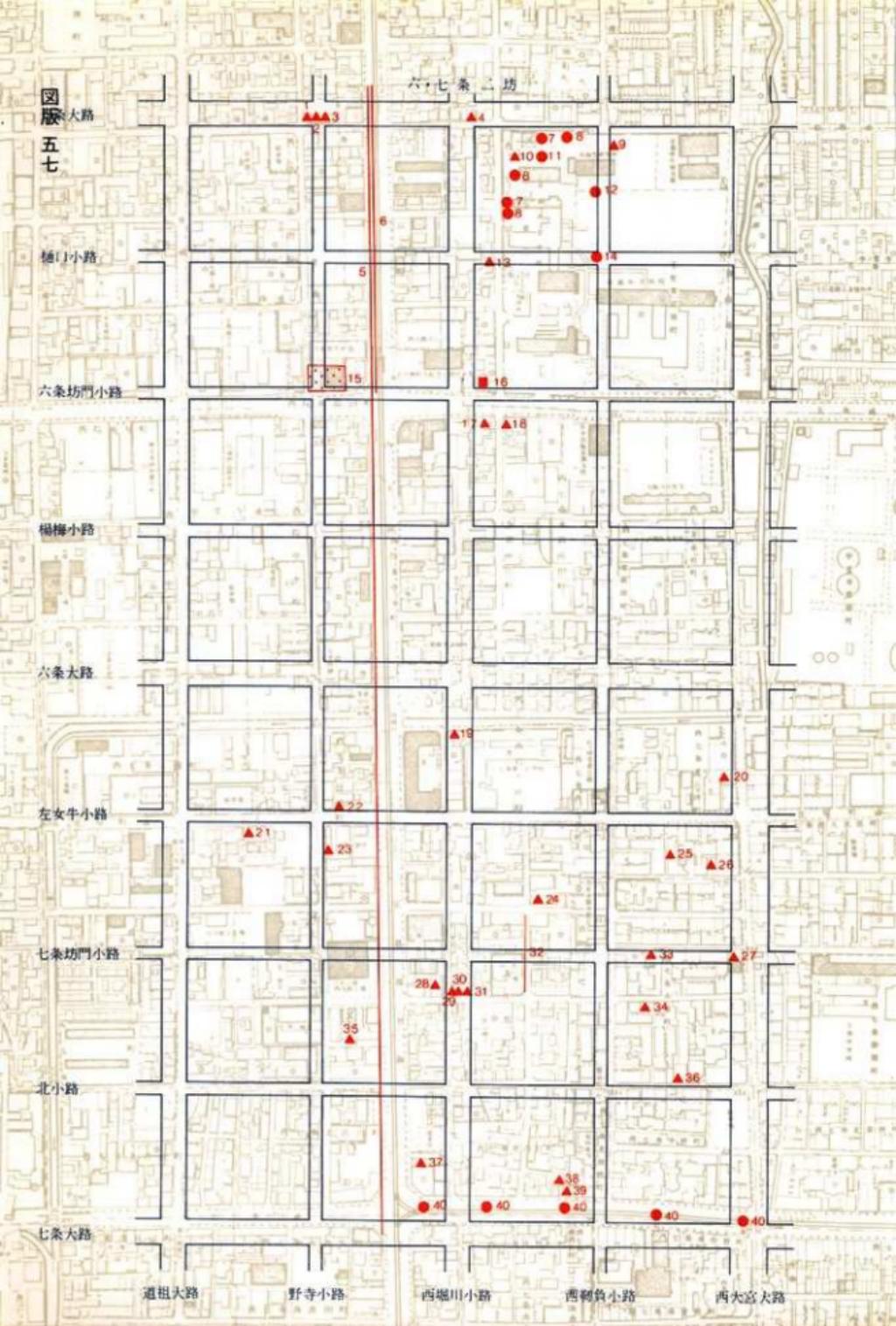
西坊城小路

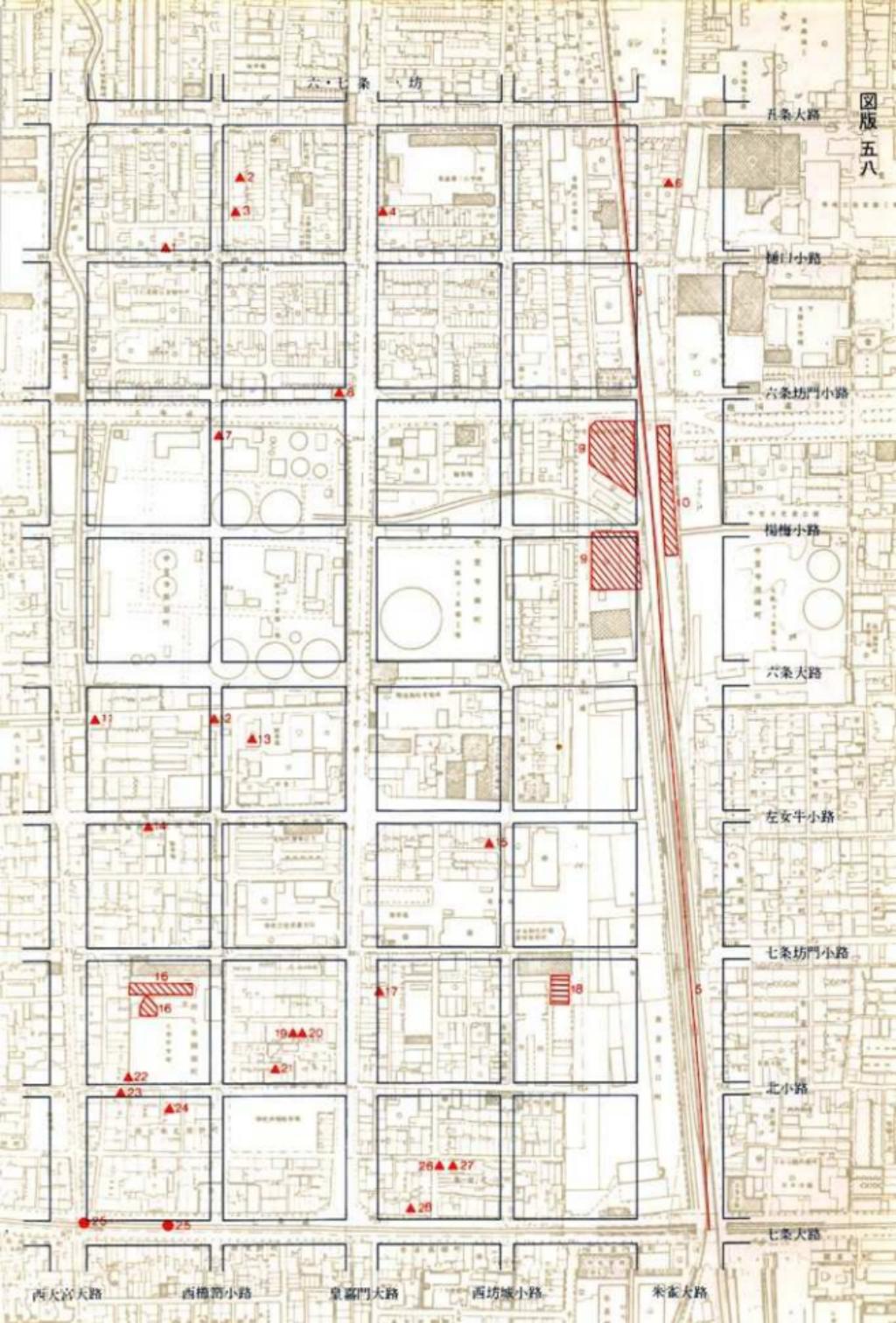
朱雀大路

圖版
五五

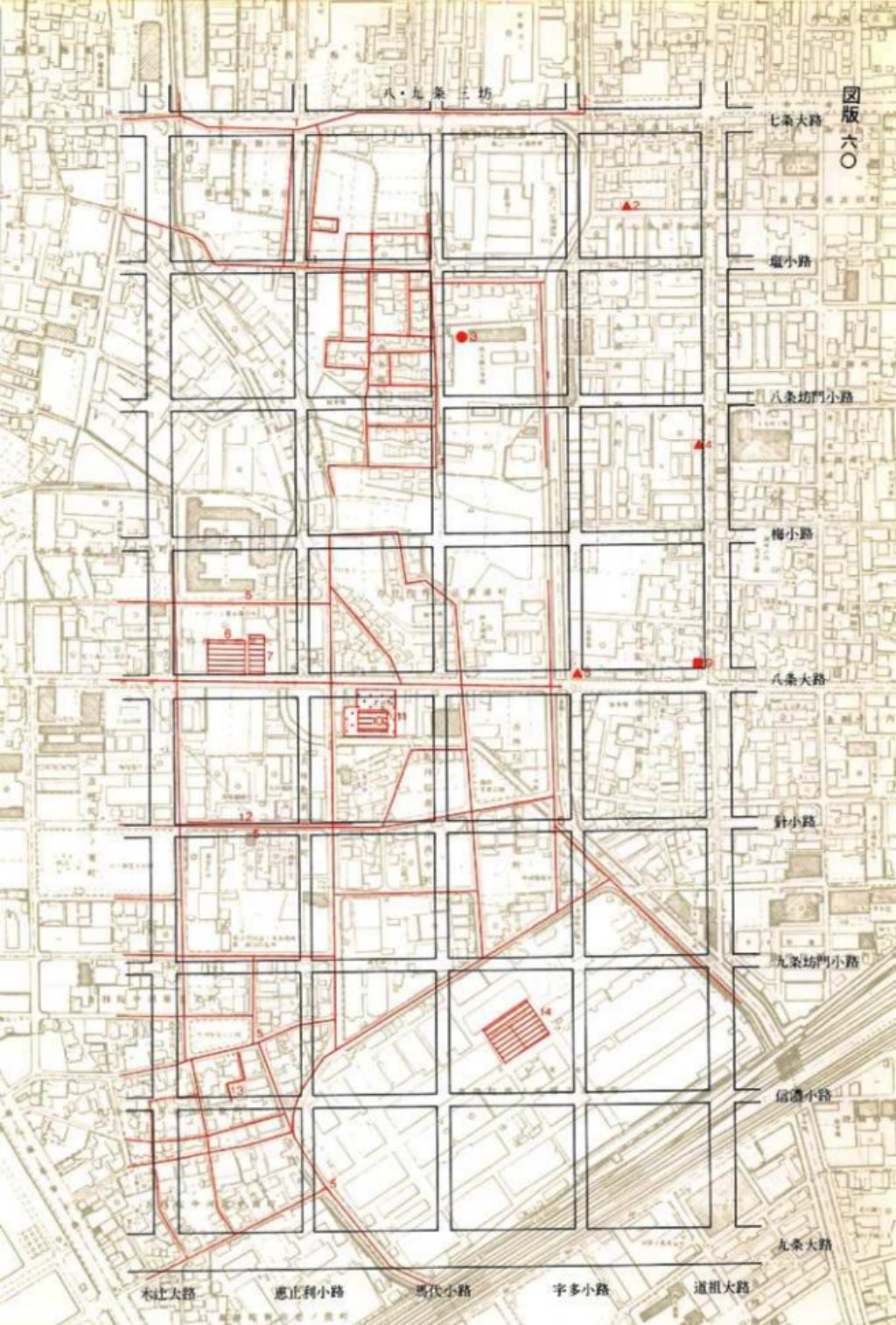


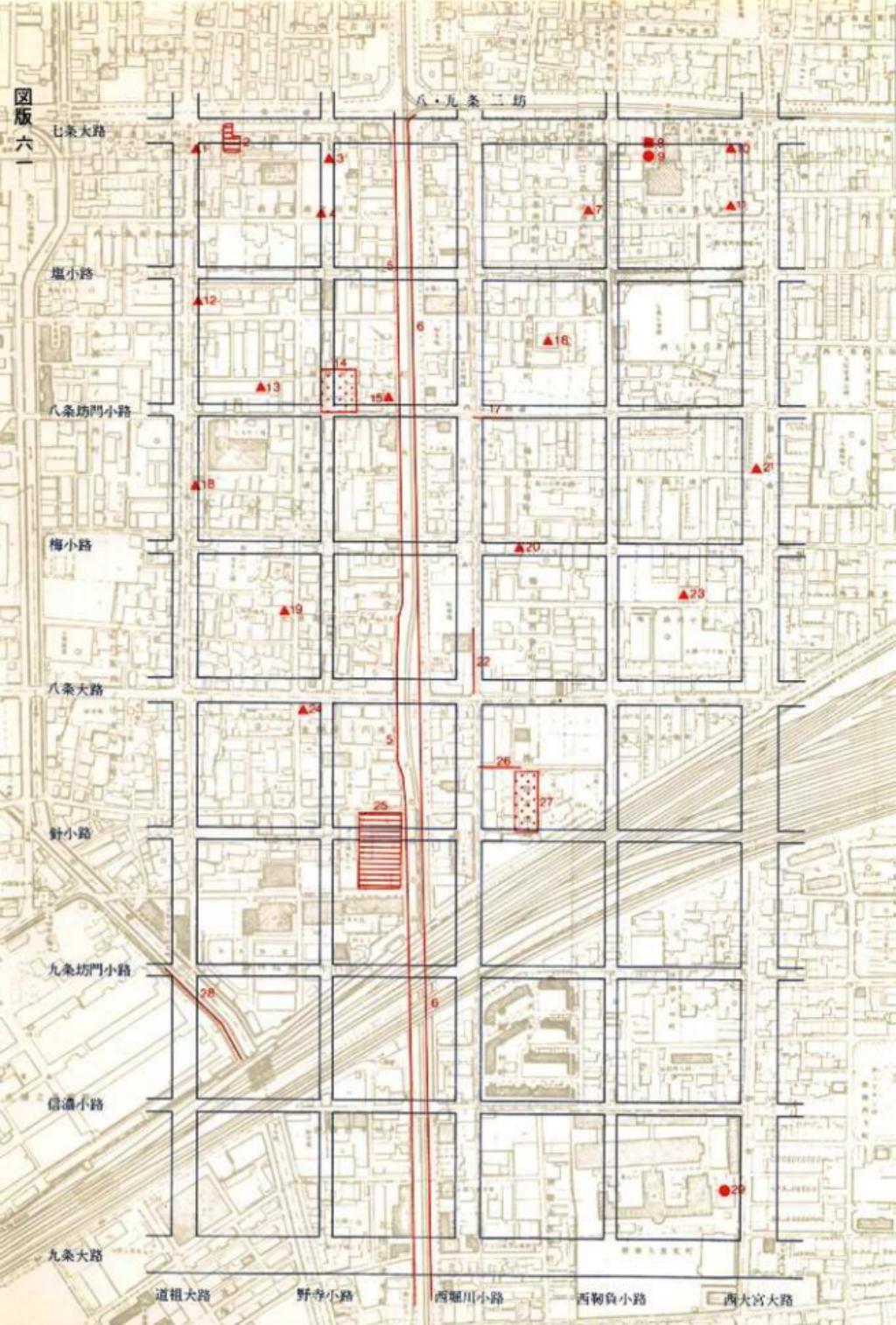


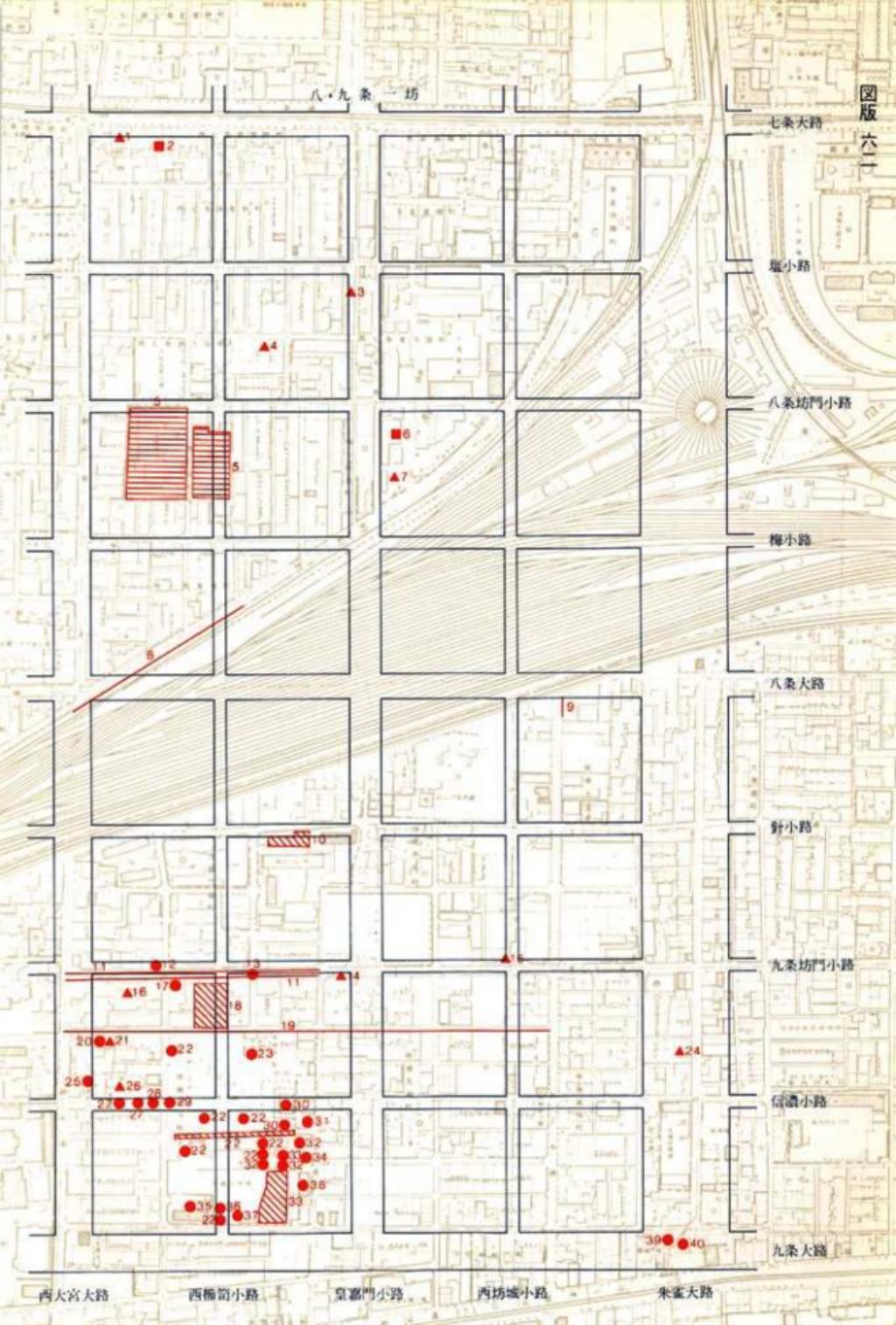


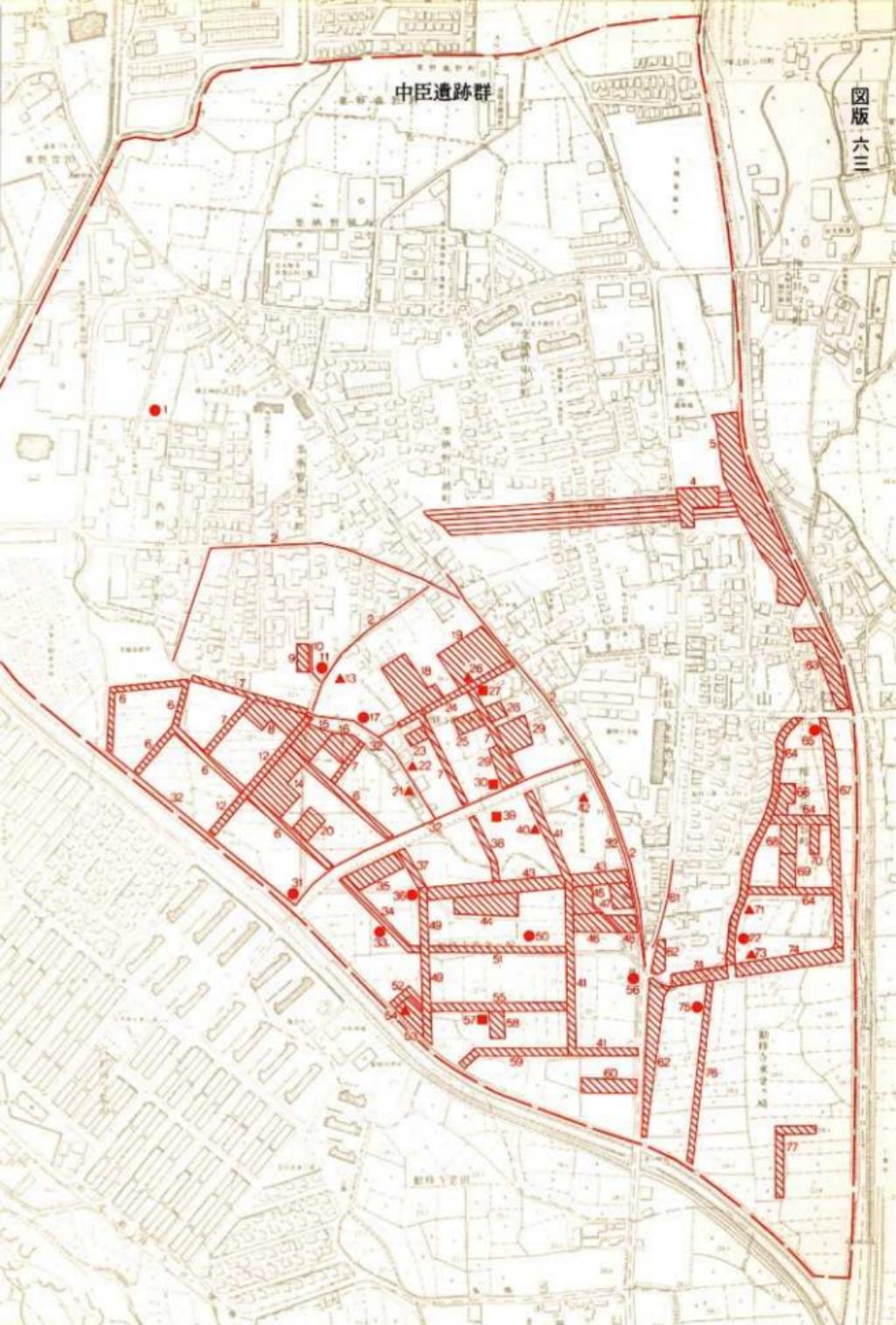


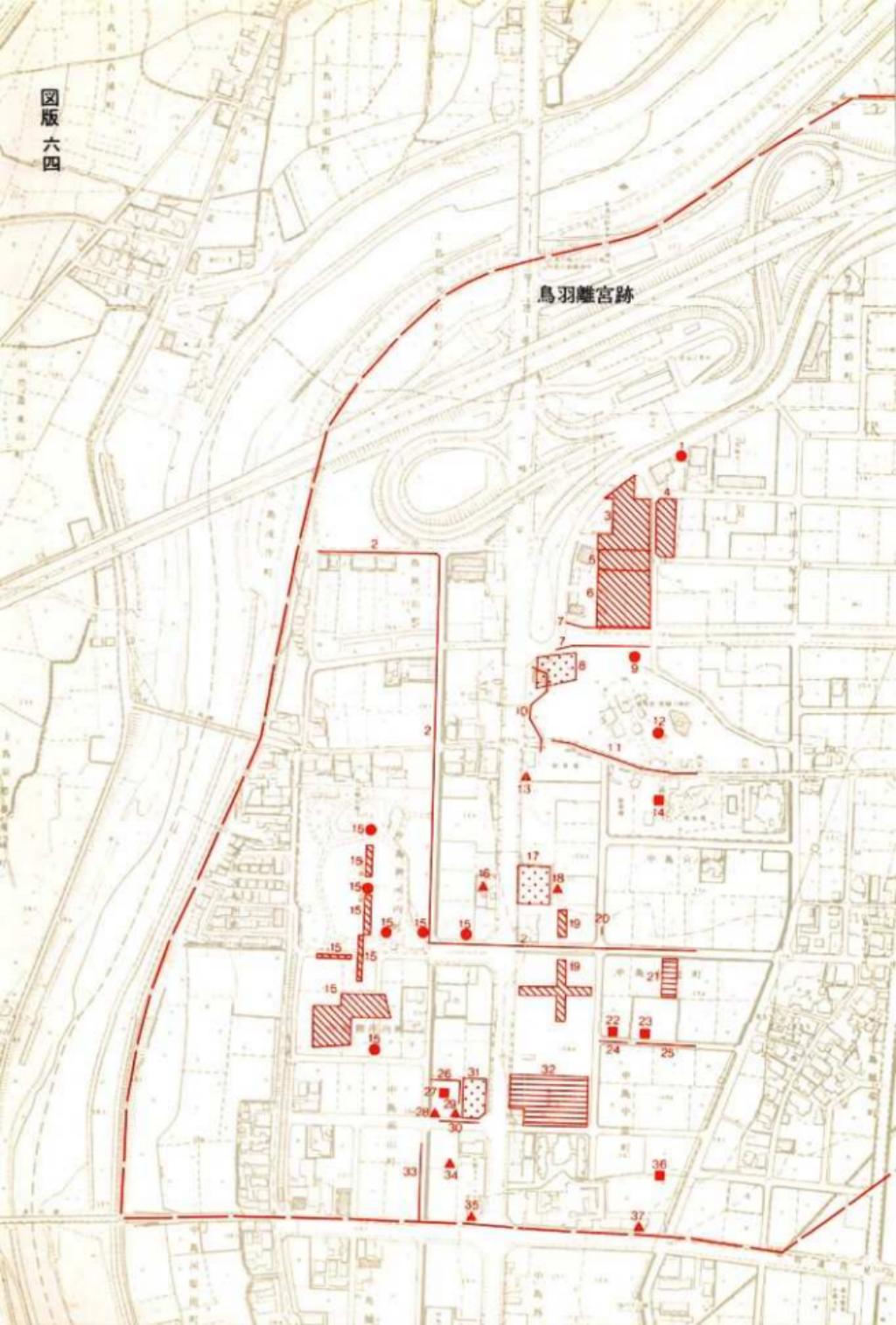




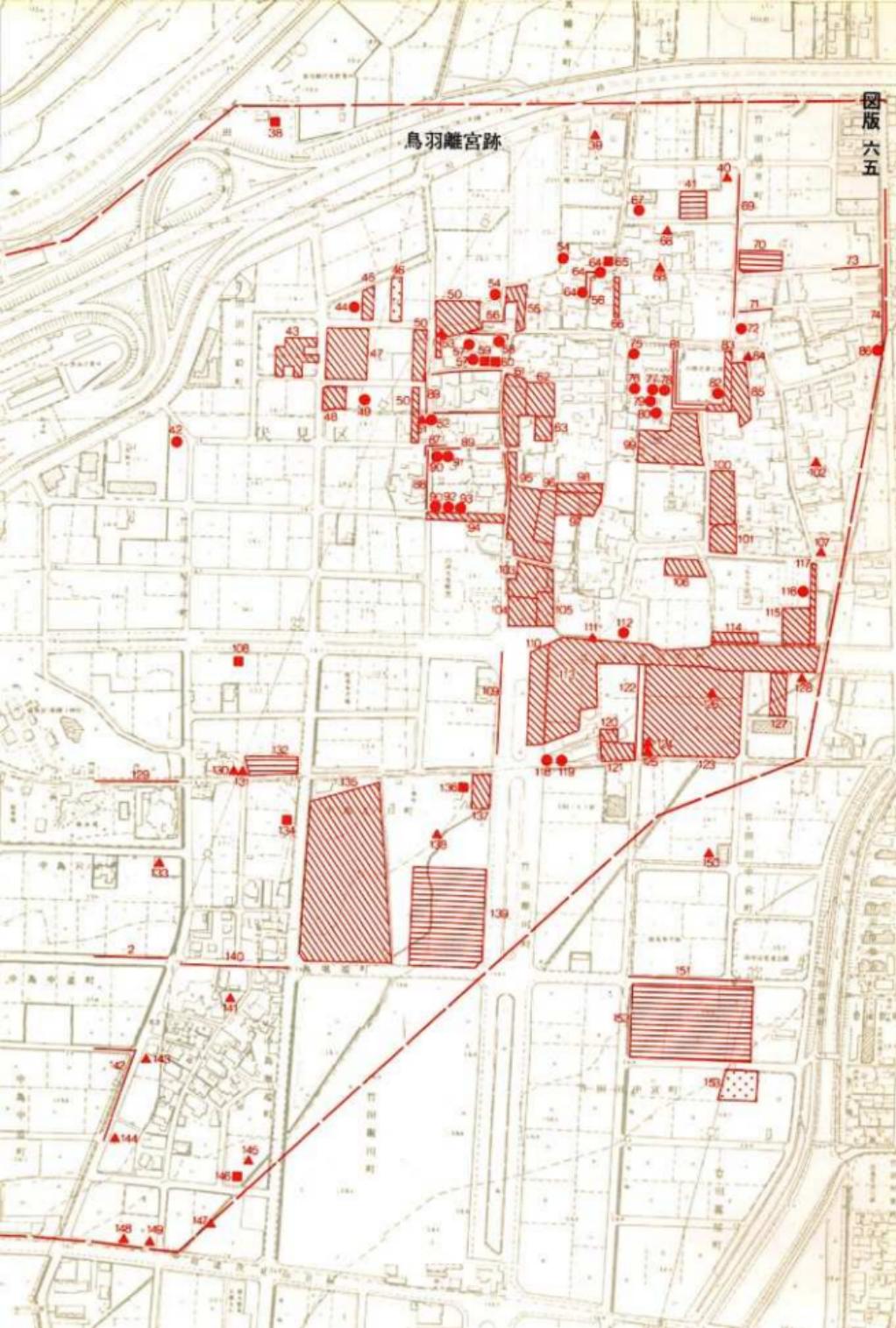


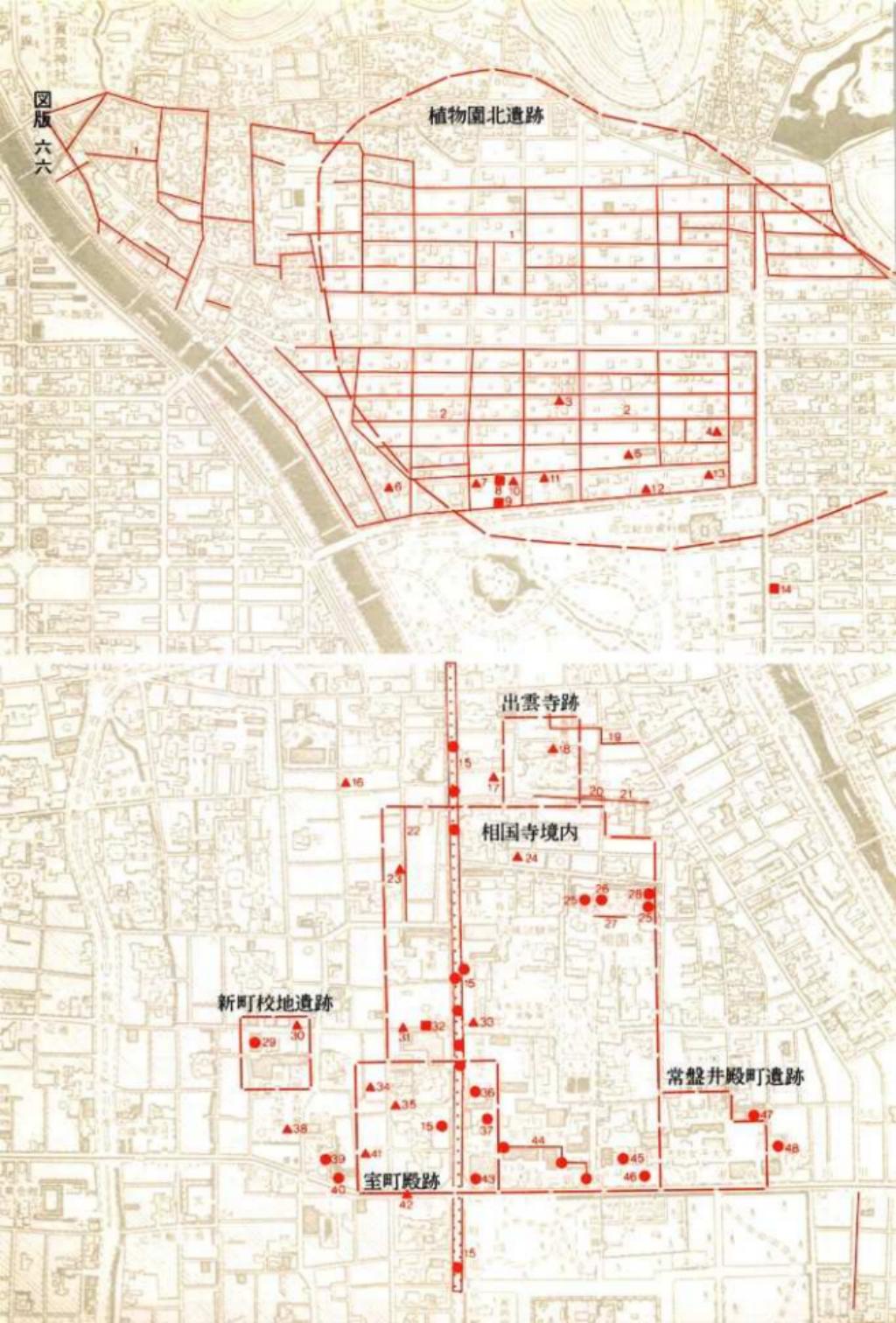


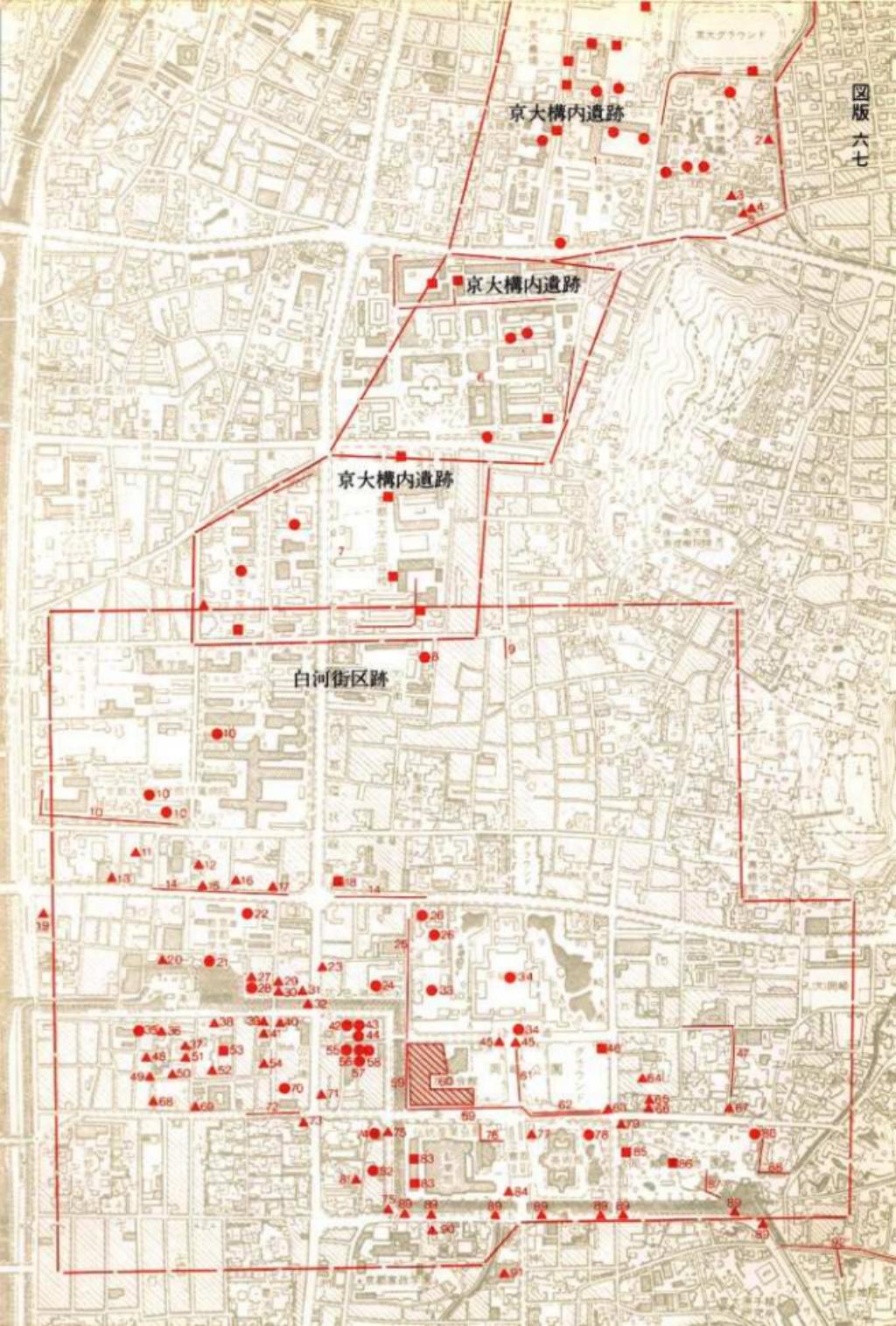


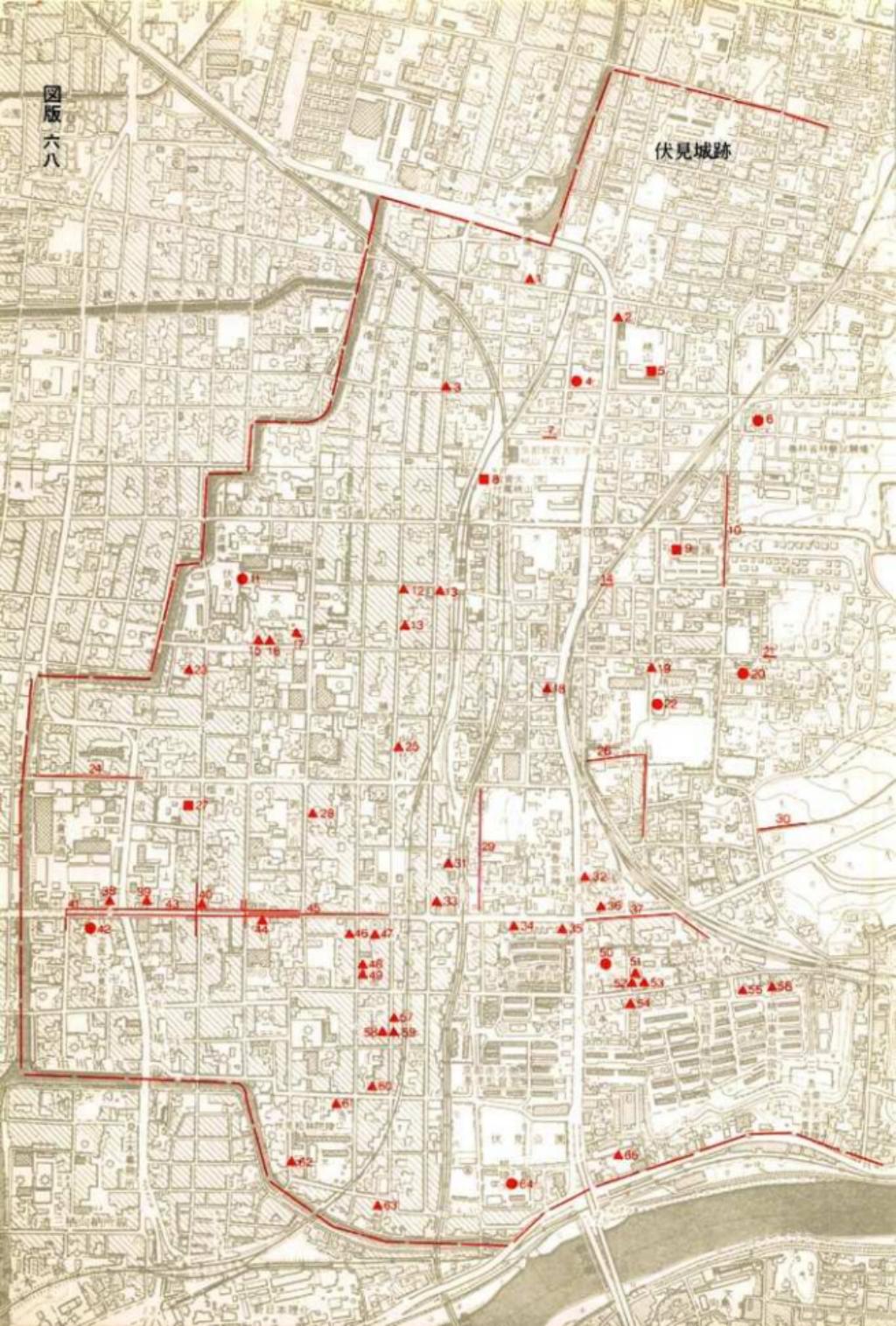


鳥羽離宮跡

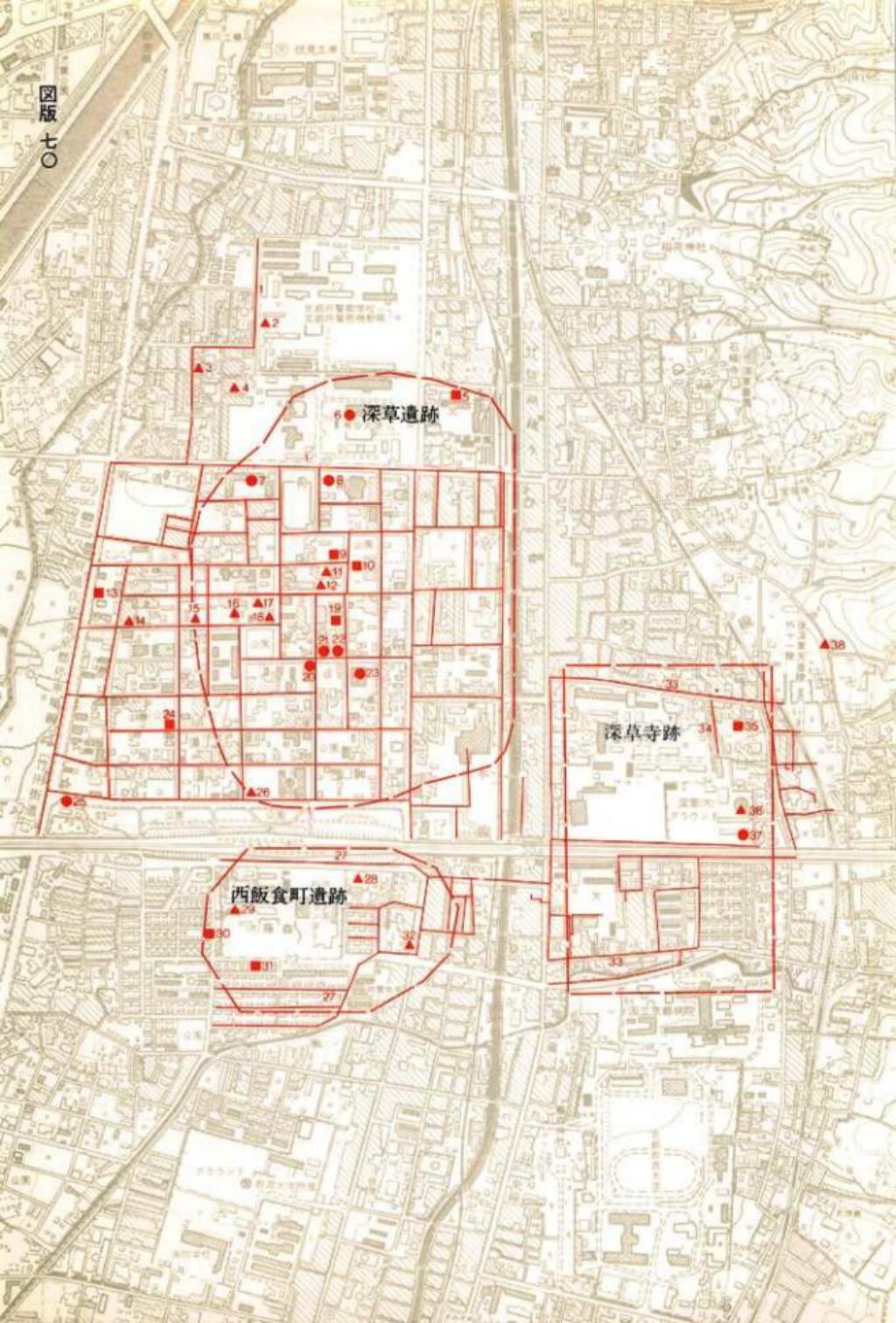


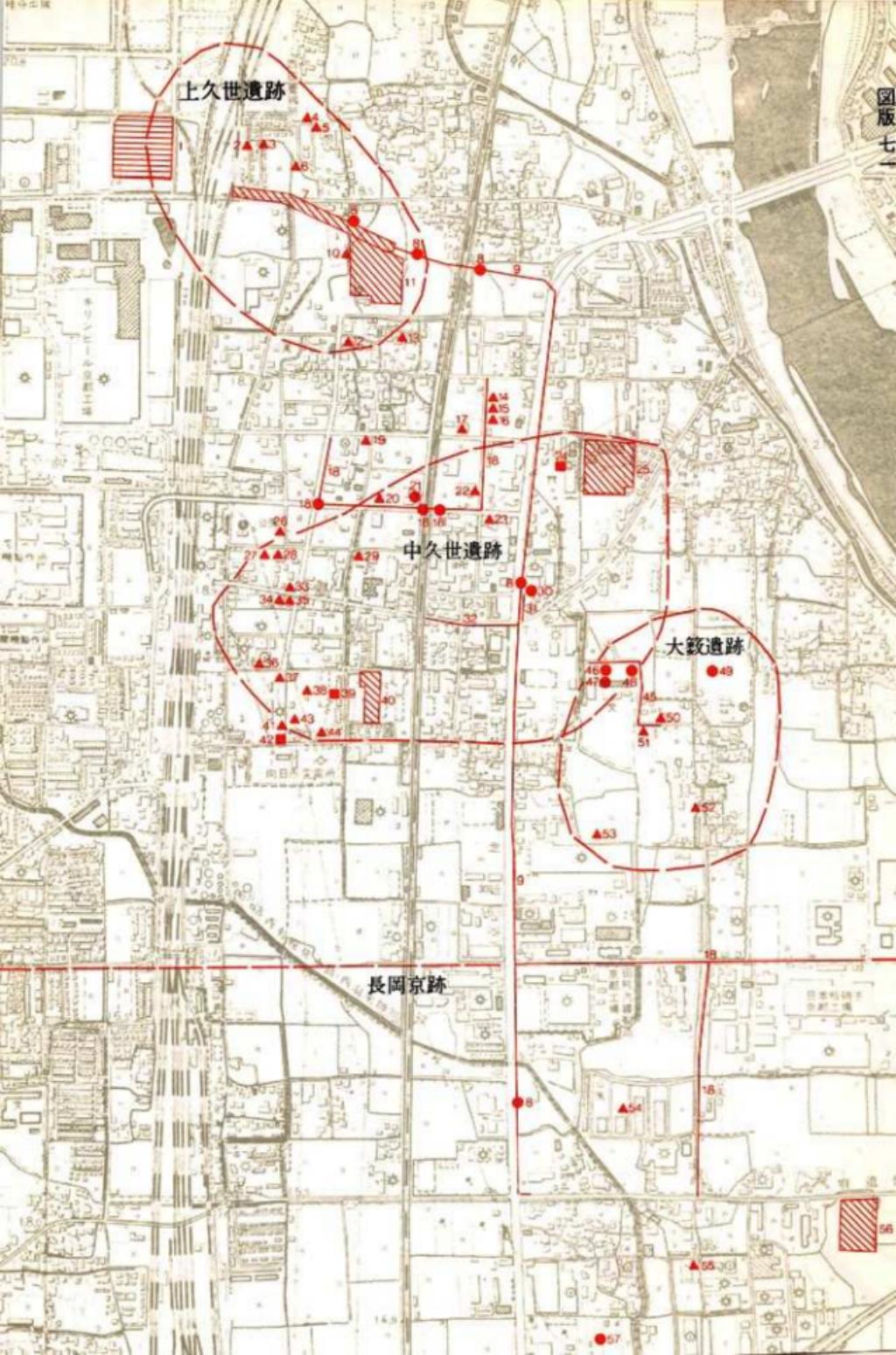




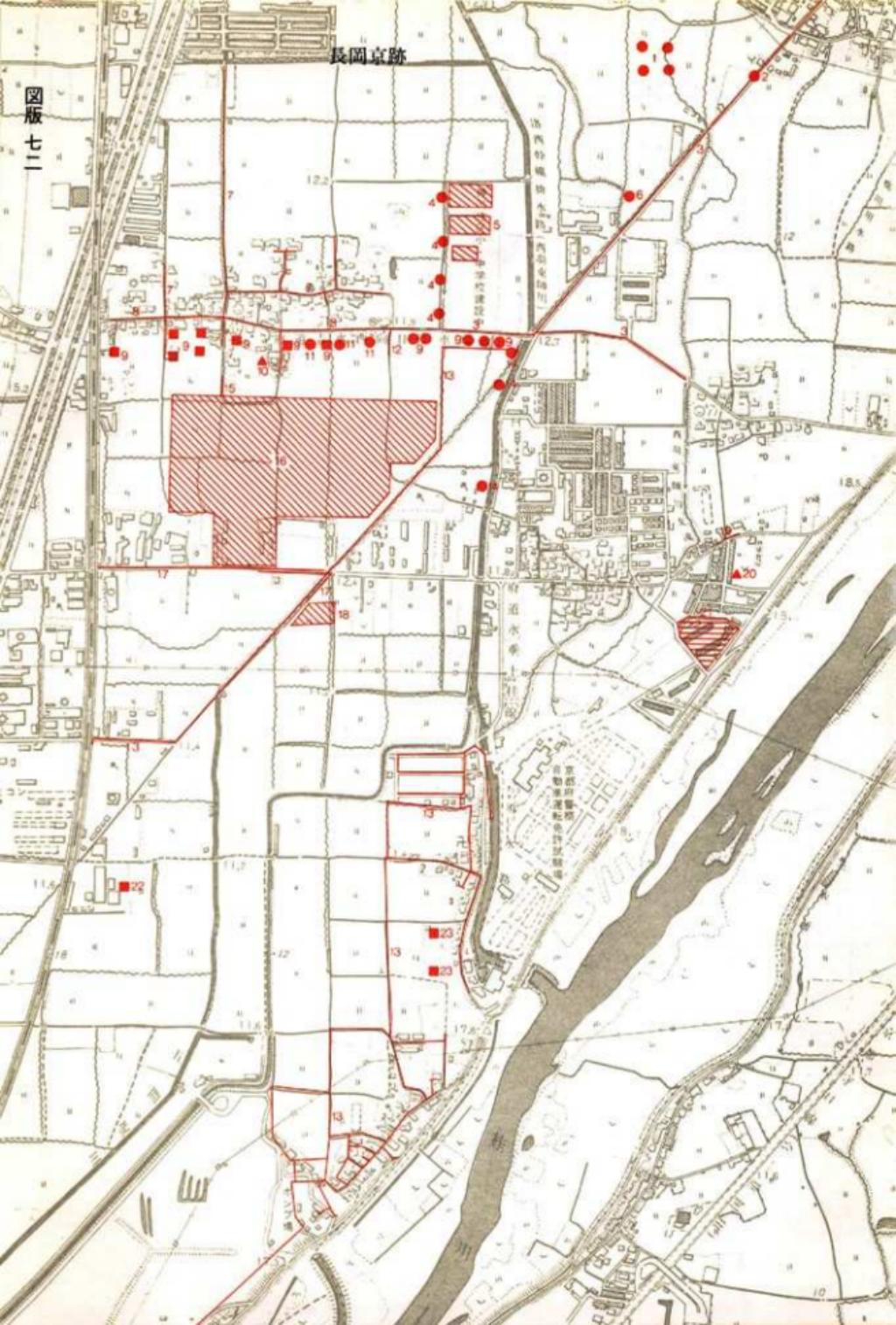








長岡京跡



京都市内遺跡試掘・立会調査報告

昭和55年度

発行日 昭和56年3月31日

発行 京都市埋蔵文化財調査センター

住所 京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町
TEL (075) 441-5261

編集 財團法人 京都市埋蔵文化財研究所

住所 京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町
TEL (075) 415-0521

印刷 真陽社